

令和8年度

地域における人材ニーズ等に関する調査結果 【求人者調査】

人材開発統括官 訓練企画室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

目次

• 調査概要	・・・ 1
• 回答者プロフィール	・・・ 2
• 人手不足の状況	・・・ 4
• 公的職業訓練制度（ハورتレーニング）認知	・・・ 5
• 求める人材ニーズとの一致度	・・・ 6
• 求める人材ニーズと一致していない理由	・・・ 7
• 修了生数（人材の供給量）と採用ニーズとの一致度	・・・ 8
• 公的職業訓練に対して特に期待する内容	・・・ 9
• 実務経験がない場合の採用可能性	・・・ 10
• 公的職業訓練でスキルを習得した場合の評価	・・・ 11
• 【事務職】採用時に評価する主な資格	・・・ 12
• 【営業・販売職】採用時に評価する主な資格	・・・ 13
• 【医療・介護職】採用時に評価する主な資格	・・・ 14
• 【IT関連職】採用時に評価する主な資格	・・・ 15
• 【WEBデザイン職】採用時に評価する主な資格	・・・ 16
• 実務未経験かつ有資格者の採用の可能性	・・・ 17
• 公的職業訓練修了生かつ無資格者の採用の可能性	・・・ 18
• 【事務職】実務経験・資格不足時の採用検討条件	・・・ 19
• 【営業・販売職】実務経験・資格不足時の採用検討条件	・・・ 20

• 【医療・介護職】実務経験・資格不足時の採用検討条件	・・・ 21
• 【IT関連職】実務経験・資格不足時の採用検討条件	・・・ 22
• 【WEBデザイン職】実務経験・資格不足時の採用検討条件	・・・ 23
• 採用時に求めるスキル・リテラシー	・・・ 24
• 公的職業訓練修了者の採用意向	・・・ 25
• 公的職業訓練修了者向けの「歓迎求人」提出意向	・・・ 26
• DXを経営課題として位置付けているか	・・・ 27
• DXの取組状況	・・・ 28
• 主に取り組んでいる／今後取り組みたいDX分野	・・・ 29
• 生成AIの業務利用状況	・・・ 30
• DX推進における課題	・・・ 31
• 採用したいDX人材のタイプ	・・・ 32
• DX人材に求めるスキル	・・・ 33
• 公的職業訓練に期待するDX関連の内容	・・・ 34
• DX関連スキルを身につけた人材の採用意向	・・・ 35
• 公的職業訓練に関して、行政に特に強化してほしい取組	・・・ 36

調査概要

調査目的	地域企業における人材ニーズ及び求職者の職業訓練ニーズを把握し、次年度以降の人材ニーズ等に基づいた訓練コースの設定や年度計画の策定等の検討資料とすることを目的とする。																																																																																																																																																									
調査対象者 (依頼方法)	公共職業安定所に事業所登録を行っている求人者 (求人者マイページを通じた協力依頼、ハローワーク窓口における協力依頼 等)																																																																																																																																																									
回答者数	計12,270ss	<table><tr><th>NO</th><th>都道府県</th><th>回答数</th></tr><tr><td>1</td><td>北海道</td><td>813</td></tr><tr><td>2</td><td>青森県</td><td>209</td></tr><tr><td>3</td><td>岩手県</td><td>167</td></tr><tr><td>4</td><td>宮城県</td><td>341</td></tr><tr><td>5</td><td>秋田県</td><td>163</td></tr><tr><td>6</td><td>山形県</td><td>164</td></tr><tr><td>7</td><td>福島県</td><td>265</td></tr><tr><td>8</td><td>茨城県</td><td>210</td></tr><tr><td>9</td><td>栃木県</td><td>217</td></tr><tr><td>10</td><td>群馬県</td><td>220</td></tr><tr><td>11</td><td>埼玉県</td><td>219</td></tr><tr><td>12</td><td>千葉県</td><td>189</td></tr><tr><td>13</td><td>東京都</td><td>96</td></tr><tr><td>14</td><td>神奈川県</td><td>342</td></tr><tr><td>15</td><td>新潟県</td><td>311</td></tr></table>	NO	都道府県	回答数	1	北海道	813	2	青森県	209	3	岩手県	167	4	宮城県	341	5	秋田県	163	6	山形県	164	7	福島県	265	8	茨城県	210	9	栃木県	217	10	群馬県	220	11	埼玉県	219	12	千葉県	189	13	東京都	96	14	神奈川県	342	15	新潟県	311	<table><tr><th>NO</th><th>都道府県</th><th>回答数</th></tr><tr><td>16</td><td>富山県</td><td>409</td></tr><tr><td>17</td><td>石川県</td><td>163</td></tr><tr><td>18</td><td>福井県</td><td>193</td></tr><tr><td>19</td><td>山梨県</td><td>159</td></tr><tr><td>20</td><td>長野県</td><td>292</td></tr><tr><td>21</td><td>岐阜県</td><td>379</td></tr><tr><td>22</td><td>静岡県</td><td>114</td></tr><tr><td>23</td><td>愛知県</td><td>932</td></tr><tr><td>24</td><td>三重県</td><td>247</td></tr><tr><td>25</td><td>滋賀県</td><td>161</td></tr><tr><td>26</td><td>京都府</td><td>209</td></tr><tr><td>27</td><td>大阪府</td><td>278</td></tr><tr><td>28</td><td>兵庫県</td><td>159</td></tr><tr><td>29</td><td>奈良県</td><td>115</td></tr><tr><td>30</td><td>和歌山県</td><td>149</td></tr></table>	NO	都道府県	回答数	16	富山県	409	17	石川県	163	18	福井県	193	19	山梨県	159	20	長野県	292	21	岐阜県	379	22	静岡県	114	23	愛知県	932	24	三重県	247	25	滋賀県	161	26	京都府	209	27	大阪府	278	28	兵庫県	159	29	奈良県	115	30	和歌山県	149	<table><tr><th>NO</th><th>都道府県</th><th>回答数</th></tr><tr><td>31</td><td>鳥取県</td><td>80</td></tr><tr><td>32</td><td>島根県</td><td>151</td></tr><tr><td>33</td><td>岡山県</td><td>243</td></tr><tr><td>34</td><td>広島県</td><td>543</td></tr><tr><td>35</td><td>山口県</td><td>220</td></tr><tr><td>36</td><td>徳島県</td><td>63</td></tr><tr><td>37</td><td>香川県</td><td>166</td></tr><tr><td>38</td><td>愛媛県</td><td>145</td></tr><tr><td>39</td><td>高知県</td><td>132</td></tr><tr><td>40</td><td>福岡県</td><td>902</td></tr><tr><td>41</td><td>佐賀県</td><td>211</td></tr><tr><td>42</td><td>長崎県</td><td>310</td></tr><tr><td>43</td><td>熊本県</td><td>371</td></tr><tr><td>44</td><td>大分県</td><td>256</td></tr><tr><td>45</td><td>宮崎県</td><td>350</td></tr><tr><td>46</td><td>鹿児島県</td><td>110</td></tr><tr><td>47</td><td>沖縄県</td><td>132</td></tr></table>	NO	都道府県	回答数	31	鳥取県	80	32	島根県	151	33	岡山県	243	34	広島県	543	35	山口県	220	36	徳島県	63	37	香川県	166	38	愛媛県	145	39	高知県	132	40	福岡県	902	41	佐賀県	211	42	長崎県	310	43	熊本県	371	44	大分県	256	45	宮崎県	350	46	鹿児島県	110	47	沖縄県	132
NO	都道府県	回答数																																																																																																																																																								
1	北海道	813																																																																																																																																																								
2	青森県	209																																																																																																																																																								
3	岩手県	167																																																																																																																																																								
4	宮城県	341																																																																																																																																																								
5	秋田県	163																																																																																																																																																								
6	山形県	164																																																																																																																																																								
7	福島県	265																																																																																																																																																								
8	茨城県	210																																																																																																																																																								
9	栃木県	217																																																																																																																																																								
10	群馬県	220																																																																																																																																																								
11	埼玉県	219																																																																																																																																																								
12	千葉県	189																																																																																																																																																								
13	東京都	96																																																																																																																																																								
14	神奈川県	342																																																																																																																																																								
15	新潟県	311																																																																																																																																																								
NO	都道府県	回答数																																																																																																																																																								
16	富山県	409																																																																																																																																																								
17	石川県	163																																																																																																																																																								
18	福井県	193																																																																																																																																																								
19	山梨県	159																																																																																																																																																								
20	長野県	292																																																																																																																																																								
21	岐阜県	379																																																																																																																																																								
22	静岡県	114																																																																																																																																																								
23	愛知県	932																																																																																																																																																								
24	三重県	247																																																																																																																																																								
25	滋賀県	161																																																																																																																																																								
26	京都府	209																																																																																																																																																								
27	大阪府	278																																																																																																																																																								
28	兵庫県	159																																																																																																																																																								
29	奈良県	115																																																																																																																																																								
30	和歌山県	149																																																																																																																																																								
NO	都道府県	回答数																																																																																																																																																								
31	鳥取県	80																																																																																																																																																								
32	島根県	151																																																																																																																																																								
33	岡山県	243																																																																																																																																																								
34	広島県	543																																																																																																																																																								
35	山口県	220																																																																																																																																																								
36	徳島県	63																																																																																																																																																								
37	香川県	166																																																																																																																																																								
38	愛媛県	145																																																																																																																																																								
39	高知県	132																																																																																																																																																								
40	福岡県	902																																																																																																																																																								
41	佐賀県	211																																																																																																																																																								
42	長崎県	310																																																																																																																																																								
43	熊本県	371																																																																																																																																																								
44	大分県	256																																																																																																																																																								
45	宮崎県	350																																																																																																																																																								
46	鹿児島県	110																																																																																																																																																								
47	沖縄県	132																																																																																																																																																								
調査手法	WEBアンケート調査																																																																																																																																																									
調査期間	・2026年6月8日（月）～8月7日（金）																																																																																																																																																									

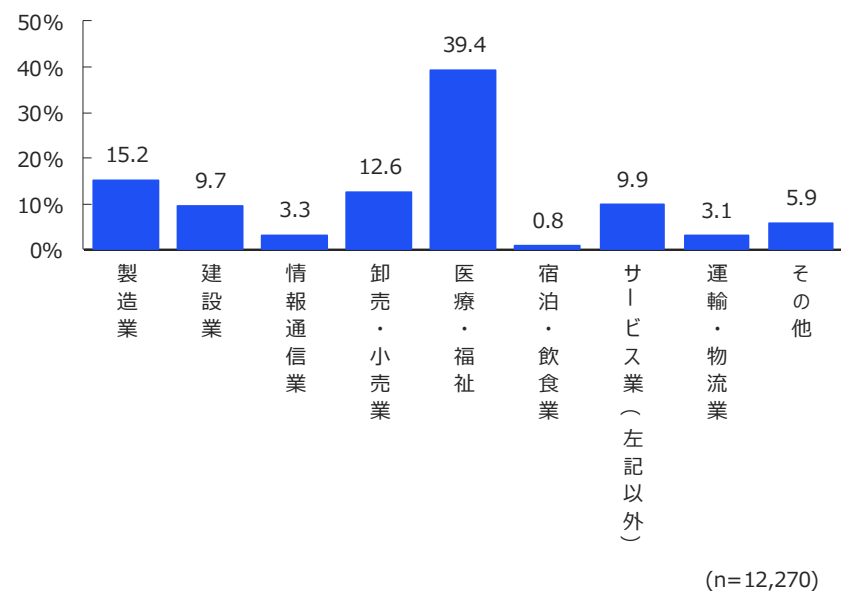
回答者プロフィール（１）

都道府県

		回答数	%
	全体	12270	100.0
1	北海道	813	6.6
2	青森県	209	1.7
3	岩手県	167	1.4
4	宮城県	341	2.8
5	秋田県	163	1.3
6	山形県	164	1.3
7	福島県	265	2.2
8	茨城県	210	1.7
9	栃木県	217	1.8
10	群馬県	220	1.8
11	埼玉県	219	1.8
12	千葉県	189	1.5
13	東京都	96	0.8
14	神奈川県	342	2.8
15	新潟県	311	2.5
16	富山県	409	3.3
17	石川県	163	1.3
18	福井県	193	1.6
19	山梨県	159	1.3
20	長野県	292	2.4
21	岐阜県	379	3.1
22	静岡県	114	0.9
23	愛知県	932	7.6
24	三重県	247	2.0
25	滋賀県	161	1.3

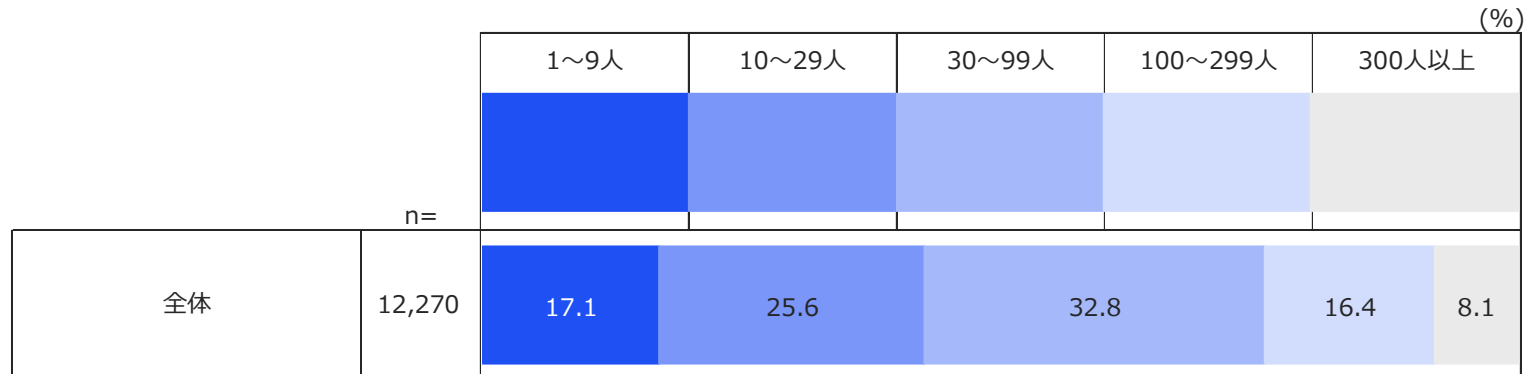
		回答数	%
	全体	12270	100.0
26	京都府	209	1.7
27	大阪府	278	2.3
28	兵庫県	159	1.3
29	奈良県	115	0.9
30	和歌山県	149	1.2
31	鳥取県	80	0.7
32	島根県	151	1.2
33	岡山県	243	2.0
34	広島県	543	4.4
35	山口県	220	1.8
36	徳島県	63	0.5
37	香川県	166	1.4
38	愛媛県	145	1.2
39	高知県	132	1.1
40	福岡県	902	7.4
41	佐賀県	211	1.7
42	長崎県	310	2.5
43	熊本県	371	3.0
44	大分県	256	2.1
45	宮崎県	350	2.9
46	鹿児島県	110	0.9
47	沖縄県	132	1.1

業種

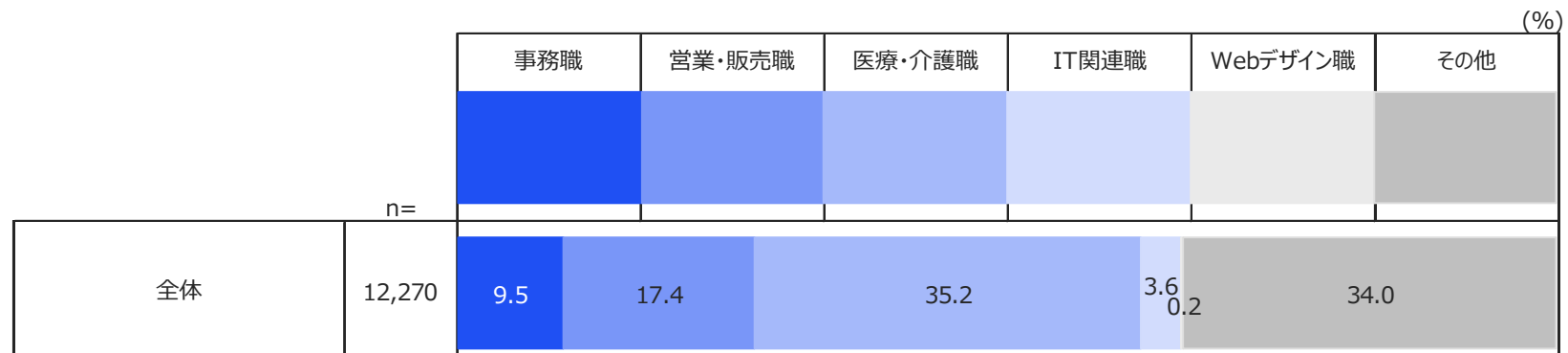


回答者プロフィール（２）

従業員規模

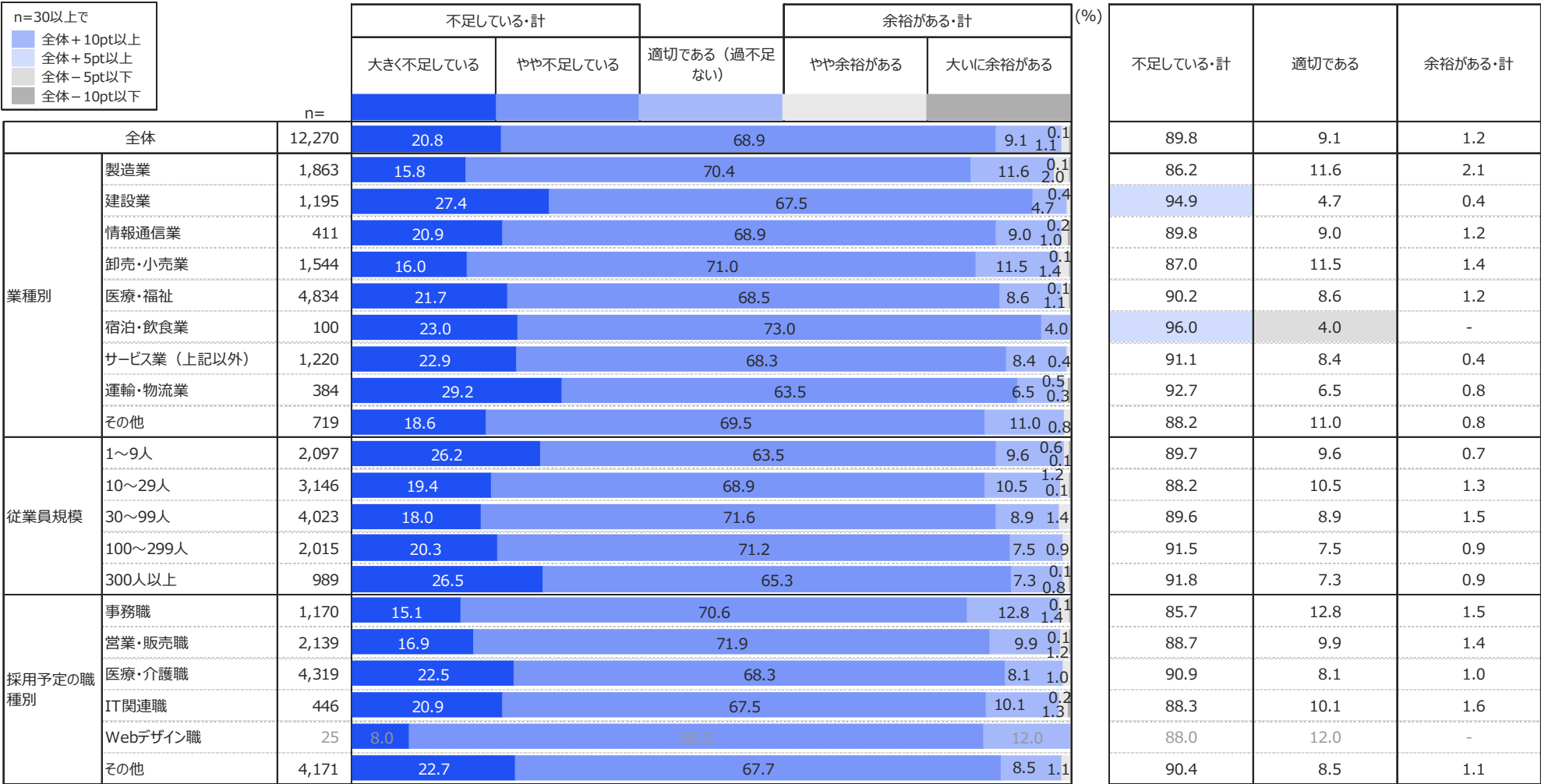


採用予定の職種



人手不足の状況

- 【全体】でみると「不足している・計」は89.8%となった。
- とくに【建設業】【宿泊・飲食業】では「不足している・計」が95%前後と、【全体】と比べて5pt以上高くなった。



※n=30未満は参考値のため灰色。

Q1_3 現在の人手不足の状況について、最も当てはまるものを1つ選んでください。（SA）

公的職業訓練制度（ハロートレーニング）認知

- 【全体】をみると「知っている・計」は33.9%となった。
- 業種別でみると【情報通信業】での「知っている・計」は58.4%で【全体】と比べて20pt以上高くなった。また「よく知っている」の割合が1割超となった。
- 従業員規模でみると、規模が大きくなるほど認知度が高まっており、【300人以上】では【全国】と比べて10pt以上高くなった。

n=30以上で 全体 + 10pt以上 全体 + 5pt以上 全体 - 5pt以下 全体 - 10pt以下			知っている・計				(%)	知っている・計
			よく知っている	概要は知っている	名前は聞いたことがある	知らない		
n=								
全体			12,270	5.0	28.9	35.0	31.2	33.9
業種別	製造業	1,863	5.7	30.2	34.8	29.3	36.0	
	建設業	1,195	5.8	30.3	34.1	29.9	36.1	
	情報通信業	411	15.8	42.6	21.9	19.7	58.4	
	卸売・小売業	1,544	3.7	24.2	35.6	36.5	27.9	
	医療・福祉	4,834	3.8	29.1	36.0	31.1	32.9	
	宿泊・飲食業	100	3.0	27.0	42.0	28.0	30.0	
	サービス業（上記以外）	1,220	6.3	27.3	34.3	32.1	33.6	
	運輸・物流業	384	4.7	25.8	37.5	32.0	30.5	
	その他	719	4.9	27.8	35.0	32.3	32.7	
従業員規模	1～9人	2,097	3.9	21.9	32.9	41.3	25.8	
	10～29人	3,146	4.4	26.4	35.8	33.4	30.8	
	30～99人	4,023	5.3	30.1	35.3	29.3	35.4	
	100～299人	2,015	5.4	33.1	36.0	25.6	38.5	
	300人以上	989	7.5	37.7	33.1	21.7	45.2	
採用予定の職種別	事務職	1,170	5.6	26.1	33.4	35.0	31.6	
	営業・販売職	2,139	4.4	26.6	36.2	32.8	31.0	
	医療・介護職	4,319	3.8	29.3	35.9	31.1	33.1	
	IT関連職	446	13.5	42.4	23.1	21.1	55.8	
	Webデザイン職	25	12.0	32.0	36.0	20.0	44.0	
	その他	4,171	5.5	28.9	35.1	30.5	34.4	

※n=30未満は参考値のため灰色。

Q2_1 公的職業訓練制度（ハロートレーニング）（※）をご存じですか。（SA）

求める人材ニーズとの一致度

- 【全体】をみると「一致している・計」が31.9%となった。「よくわからない」の回答が43.7%となり、公的職業訓練の内容理解まで至っていないことがうかがえる。

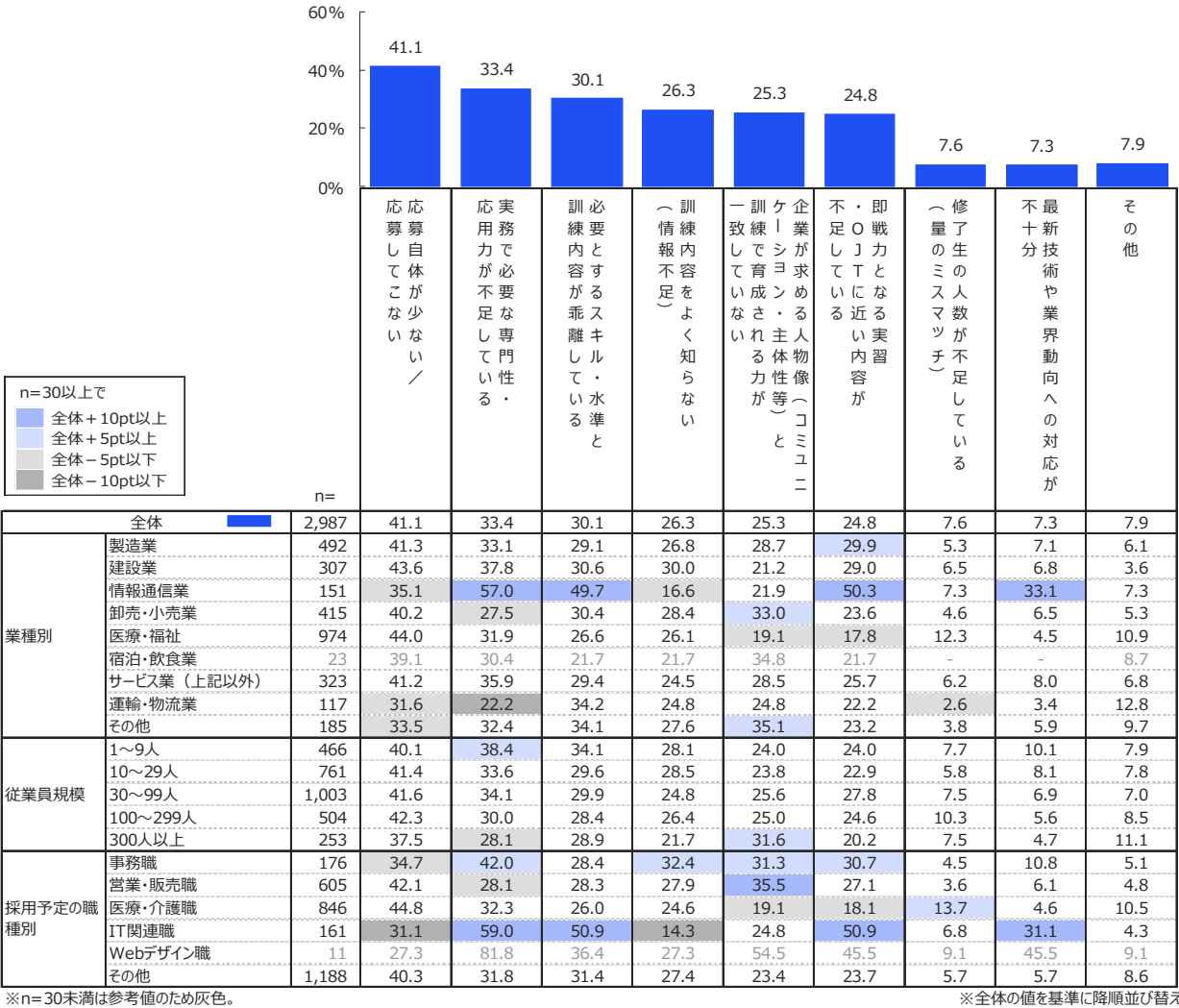
n=30以上で 全体+10pt以上 全体+5pt以上 全体-5pt以下 全体-10pt以下		n=	一致している・計		一致していない・計			(%)	一致している・計	一致していない・計	よくわからない
			十分一致している	概ね一致している	あまり一致していない	一致していない	よくわからない				
全体		12,270	1.3	30.6	20.1	4.3	43.7		31.9	24.3	43.7
業種別	製造業	1,863	1.1	30.8	23.1	3.3	41.7		31.9	26.4	41.7
	建設業	1,195	1.3	31.5	22.3	3.4	41.5		32.8	25.7	41.5
	情報通信業	411	1.9	35.5	29.7	7.1	25.8		37.5	36.7	25.8
	卸売・小売業	1,544	1.2	23.1	23.1	3.8	48.8		24.4	26.9	48.8
	医療・福祉	4,834	1.4	33.9	15.9	4.2	44.5		35.4	20.1	44.5
	宿泊・飲食業	100	2.0	25.0	19.0	4.0	50.0		27.0	23.0	50.0
	サービス業（上記以外）	1,220	1.3	29.0	21.5	5.0	43.2		30.3	26.5	43.2
	運輸・物流業	384	0.3	25.8	24.2	6.3	43.5		26.0	30.5	43.5
	その他	719	0.7	26.3	19.9	5.8	47.3		27.0	25.7	47.3
	従業員規模	1～9人	2,097	1.4	26.2	16.7	5.5	50.2		27.6	22.2
10～29人		3,146	1.3	29.2	20.3	3.8	45.4		30.5	24.2	45.4
30～99人		4,023	1.3	32.3	20.7	4.3	41.5		33.6	24.9	41.5
100～299人		2,015	0.9	32.4	21.2	3.8	41.6		33.3	25.0	41.6
300人以上		989	1.7	34.5	21.6	3.9	38.2		36.2	25.6	38.2
採用予定の職種別	事務職	1,170	1.6	34.6	13.4	1.6	48.7		36.2	15.0	48.7
	営業・販売職	2,139	0.9	24.5	24.7	3.6	46.2		25.5	28.3	46.2
	医療・介護職	4,319	1.5	35.1	15.6	4.0	43.9		36.5	19.6	43.9
	IT関連職	446	2.2	34.3	30.7	5.4	27.4		36.5	36.1	27.4
	Webデザイン職	25		32.0	32.0	12.0	24.0		32.0	44.0	24.0
	その他	4,171	1.1	27.7	23.0	5.5	42.8		28.7	28.5	42.8

※n=30未満は参考値のため灰色。

Q2_2 公的職業訓練の内容は、求める人材ニーズとどの程度一致していると思いますか。（SA）

求める人材ニーズと一致していない理由

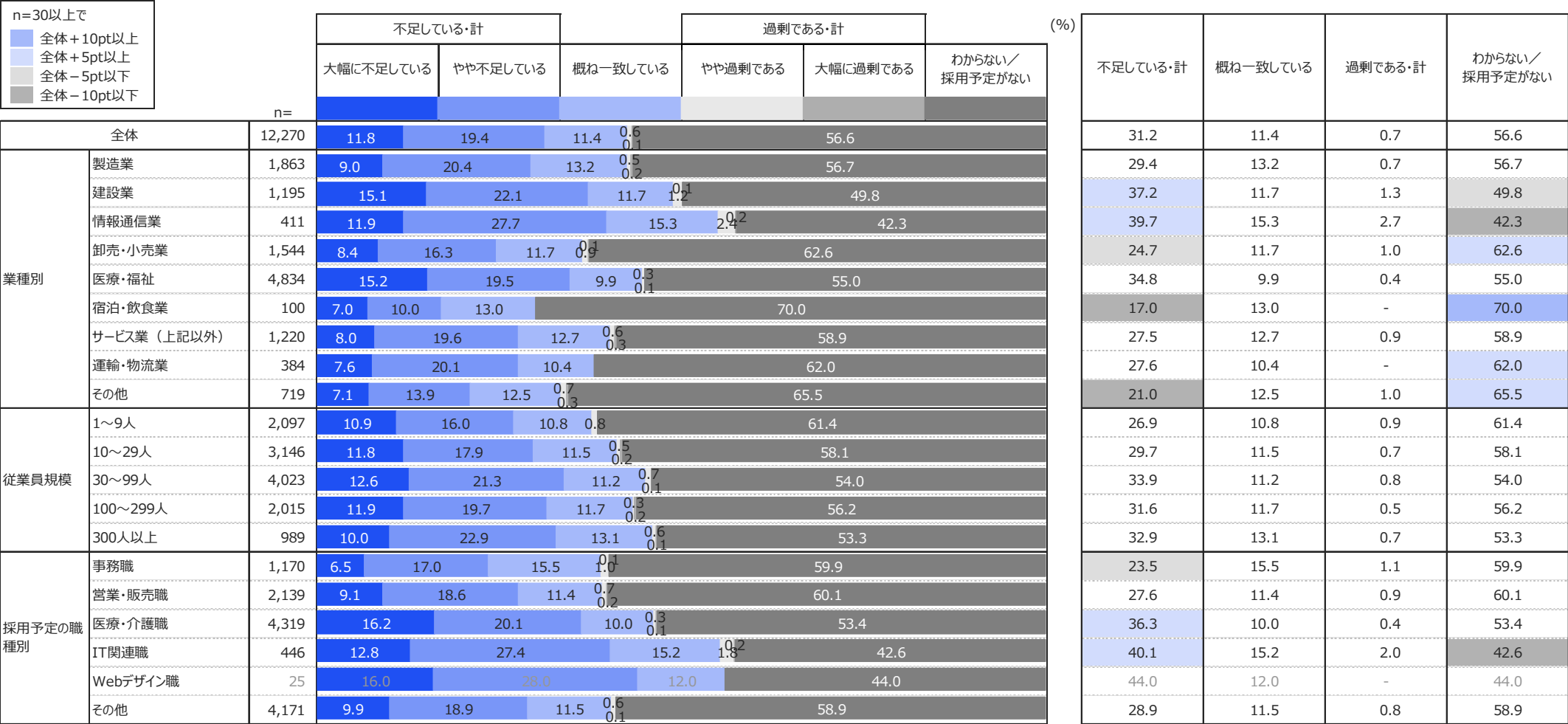
- 【全体】をみると「応募自体が少ない／応募してこない」が最も高く41.1%。次いで「実務に必要な専門性・応用力が不足している」（33.4%）と続く。
- 【情報通信業】では、「実務に必要な専門性・応用力が不足している」「必要とするスキル・水準と訓練内容が乖離している」「即戦力となる実習・OJTに近い内容が不足している」が半数近くとなり、実務に必要なスキルと訓練内容が不一致となっていることがうかがえる。



Q2_2_2 前問で「あまり一致していない」または「一致していない」と回答した方にお伺いします。一致していない理由として、当てはまるものをすべて選んでください。（MA）【求める人材と一致していない人ベース】

修了生数（人材の供給量）と採用ニーズとの一致度

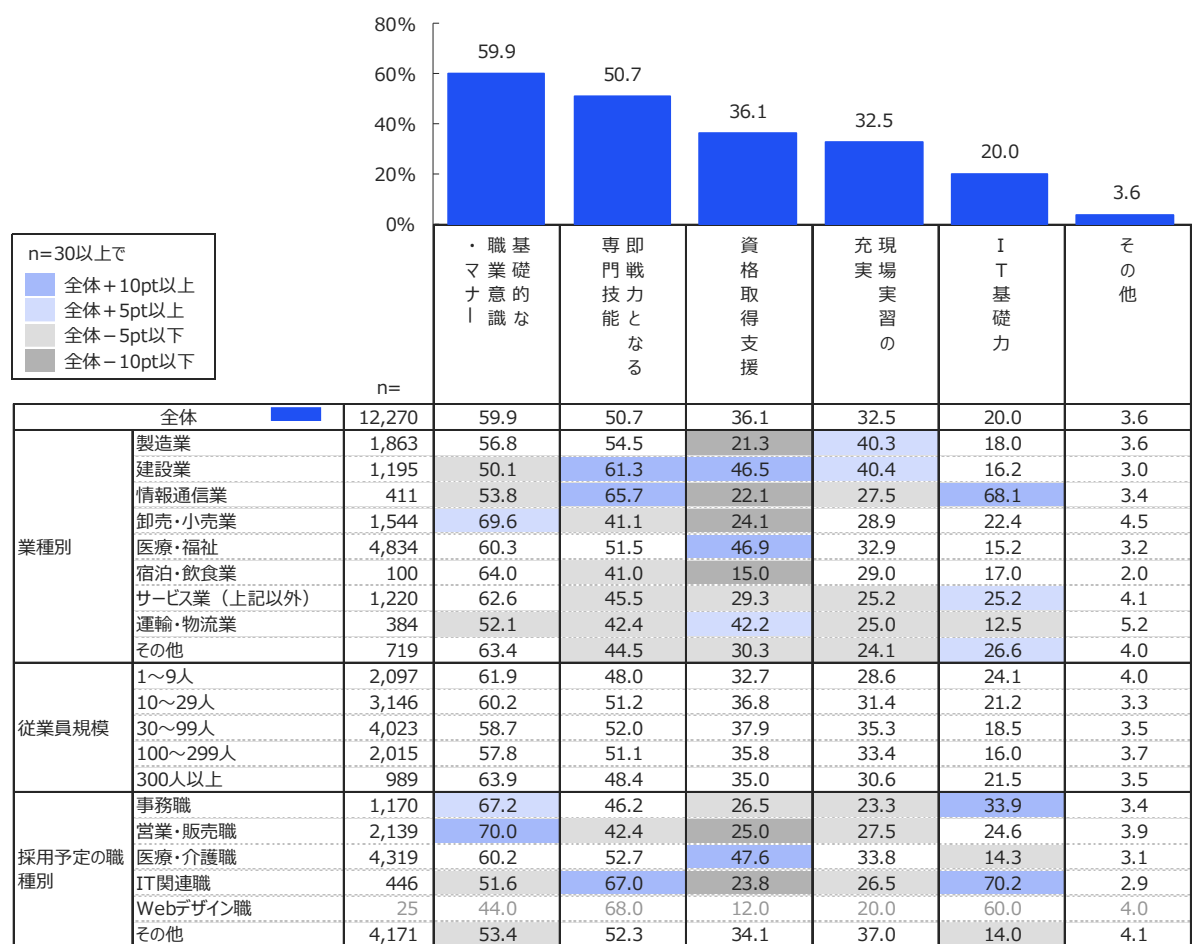
- 【全体】をみると「不足している・計」が31.2%となった。「わからない／採用予定がない」は半数超となった。



Q2_3 公的職業訓練の修了生数（人材の供給量）は、採用ニーズとどの程度一致していると感じますか。（SA）

公的職業訓練に対して特に期待する内容

- ・【全体】をみると「基礎的な職業意識・マナー」が最も高く59.9%。次いで「即戦力となる専門技能」（50.7%）と続く。
- ・【建設業】【情報通信業】では「即戦力となる専門技能」が6割を超えており、【全体】と比べて10pt以上高くなった。
- ・【医療・福祉】【建設業】【運輸・物流業】では「資格取得支援」が4割を超えており、【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- ・【事務職】【営業・販売職】では「基礎的な職業意識・マナー」が6割を超えており、【全体】と比べて5pt以上高くなった。



※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q2_4 公的職業訓練に対して、特に期待する内容をすべて選んでください。（MA）

実務経験がない場合の採用可能性

- 【全体】をみると「採用は難しい」は1割以下となっており、条件次第では採用（検討）することがうかがえる。
- 一方で【IT関連職】など一定のスキルを要する職では「採用は難しい」が2割近くとなった。

			(%)			
n=			採用は難しい	条件が合えば採用を検討する	未経験でも採用する場合がある	未経験でも積極的に採用する
業種別	全体	12,270	6.2	32.6	36.5	24.6
	製造業	1,863	5.3	31.5	38.5	24.7
	建設業	1,195	4.3	30.8	39.8	25.1
	情報通信業	411	18.0	41.6	30.2	10.2
	卸売・小売業	1,544	4.3	31.1	37.4	27.3
	医療・福祉	4,834	6.6	33.2	36.2	24.0
	宿泊・飲食業	100	1.0	30.0	40.0	29.0
	サービス業（上記以外）	1,220	7.3	33.0	34.1	25.6
	運輸・物流業	384	3.6	30.2	35.9	30.2
従業員規模	その他	719	7.6	33.5	34.2	24.6
	1～9人	2,097	10.2	35.3	30.7	23.9
	10～29人	3,146	6.5	31.0	36.4	26.1
	30～99人	4,023	5.1	31.7	38.6	24.6
	100～299人	2,015	5.0	34.5	37.2	23.3
採用予定の職種別	300人以上	989	4.1	31.6	39.9	24.3
	事務職	1,170	9.7	37.7	34.6	18.0
	営業・販売職	2,139	4.5	30.9	38.0	26.6
	医療・介護職	4,319	6.5	32.7	36.5	24.4
	IT関連職	446	19.7	43.3	27.8	9.2
	Webデザイン職	25	28.0	52.0	16.0	4.0
その他			4.4	30.7	37.5	27.4

※n=30未満は参考値のため灰色。

Q3_1 実務経験がない場合の採用可能性について、最も近いものを1つ選んでください。（SA）

公的職業訓練でスキルを習得した場合の評価

- 【全体】をみると「評価する・計」は37.3%となっており、「基礎的スキルとして参考にする」が58.6%となった。
- 【IT関連職】の「評価する・計」は2割程度となった。

n=30以上で			評価する・計			評価しない・計		(%)
			実務経験者と同等に評価する	一定程度評価する	基礎的スキルとして参考にする	あまり評価しない	評価しない	
n=								
全体			12,270	5.3	32.0	58.6	3.4	0.8
業種別	製造業	1,863	4.4	29.9	61.7	3.1	0.9	
	建設業	1,195	4.4	36.5	56.2	2.8	0.2	
	情報通信業	411	3.4	18.2	69.1	6.8	2.4	
	卸売・小売業	1,544	5.2	31.0	58.3	4.7	0.8	
	医療・福祉	4,834	6.1	34.2	56.2	2.9	0.6	
	宿泊・飲食業	100	3.0	31.0	62.0	4.0		
	サービス業（上記以外）	1,220	4.8	29.4	60.7	3.9	1.2	
	運輸・物流業	384	7.6	32.8	54.9	3.4	1.3	
	その他	719	4.6	29.2	63.0	2.2	1.0	
従業員規模	1～9人	2,097	6.6	30.8	57.5	3.8	1.3	
	10～29人	3,146	5.6	31.8	58.5	3.5	0.7	
	30～99人	4,023	4.9	33.5	58.0	3.0	0.5	
	100～299人	2,015	4.7	32.1	59.2	3.4	0.6	
	300人以上	989	4.3	28.4	62.2	3.9	1.1	
採用予定の職種別	事務職	1,170	5.6	32.4	58.1	3.1	0.8	
	営業・販売職	2,139	4.8	30.8	59.7	4.3	0.6	
	医療・介護職	4,319	6.1	34.4	55.9	3.0	0.6	
	IT関連職	446	2.9	18.4	69.7	6.1	2.9	
	Webデザイン職	25		20.0	76.0		4.0	
	その他	4,171	4.9	31.5	59.6	3.1	0.8	

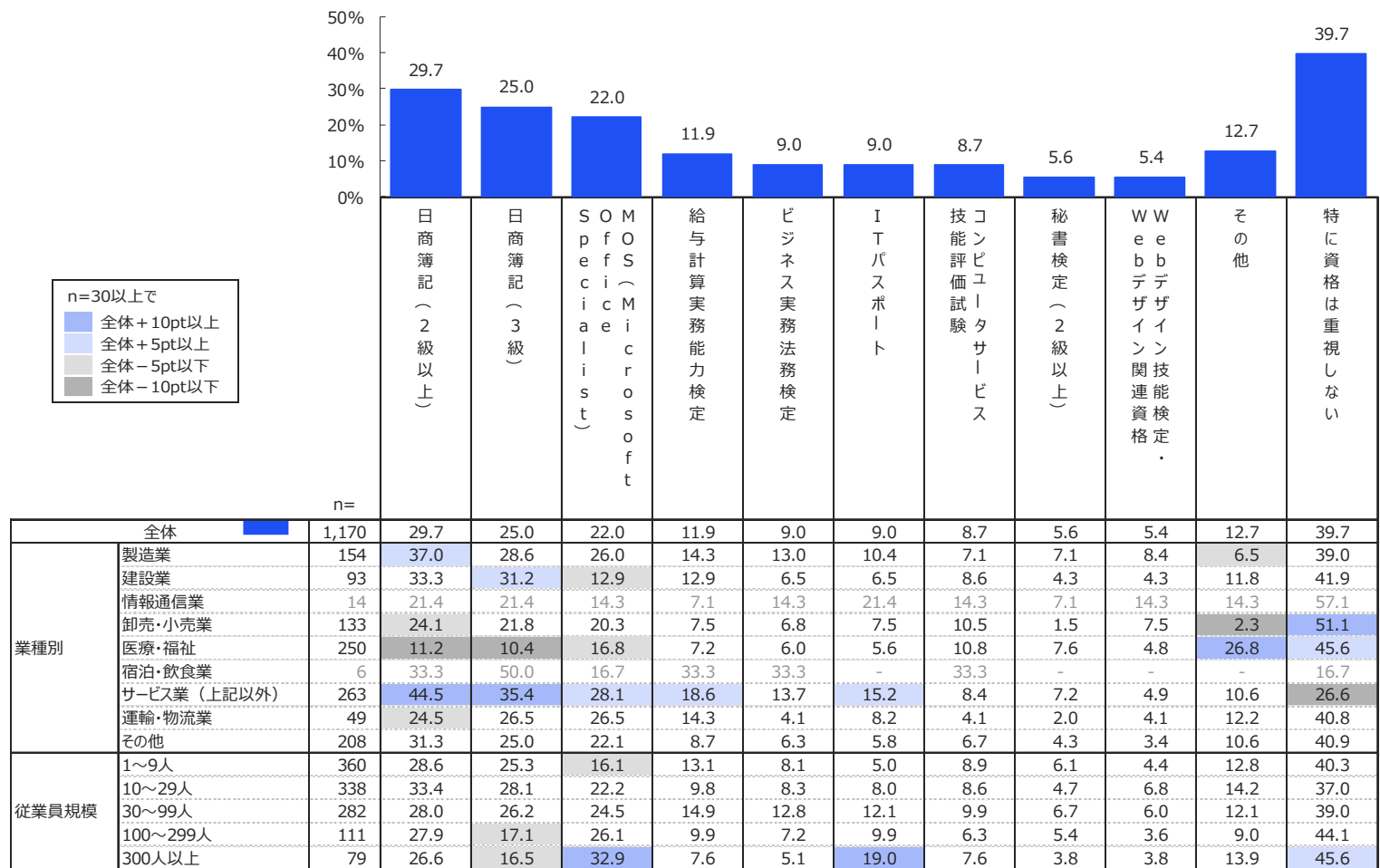
※n=30未満は参考値のため灰色。

評価する・計	参考にする	評価しない・計
37.3	58.6	4.2
34.3	61.7	4.0
40.8	56.2	2.9
21.7	69.1	9.2
36.2	58.3	5.5
40.3	56.2	3.5
34.0	62.0	4.0
34.3	60.7	5.1
40.4	54.9	4.7
33.8	63.0	3.2
37.4	57.5	5.1
37.4	58.5	4.2
38.5	58.0	3.5
36.8	59.2	4.0
32.8	62.2	5.1
38.0	58.1	3.8
35.5	59.7	4.8
40.5	55.9	3.6
21.3	69.7	9.0
20.0	76.0	4.0
36.4	59.6	3.9

Q3_2 公的職業訓練でスキルを習得した場合の評価について、最も近いものを1つ選んでください。（SA）

【事務職】採用時に評価する主な資格

- 【全体】をみると「特に資格は重視しない」が最も高く39.7%。次いで「日商簿記（2級以上）」（29.7%）と続く。
- 【製造業】【建設業】【サービス業（上記以外）】では日商簿記に対して一定の評価をしているものの、【卸売・小売業】【医療・福祉】では資格への重要度があまり高くないことがうかがえる。



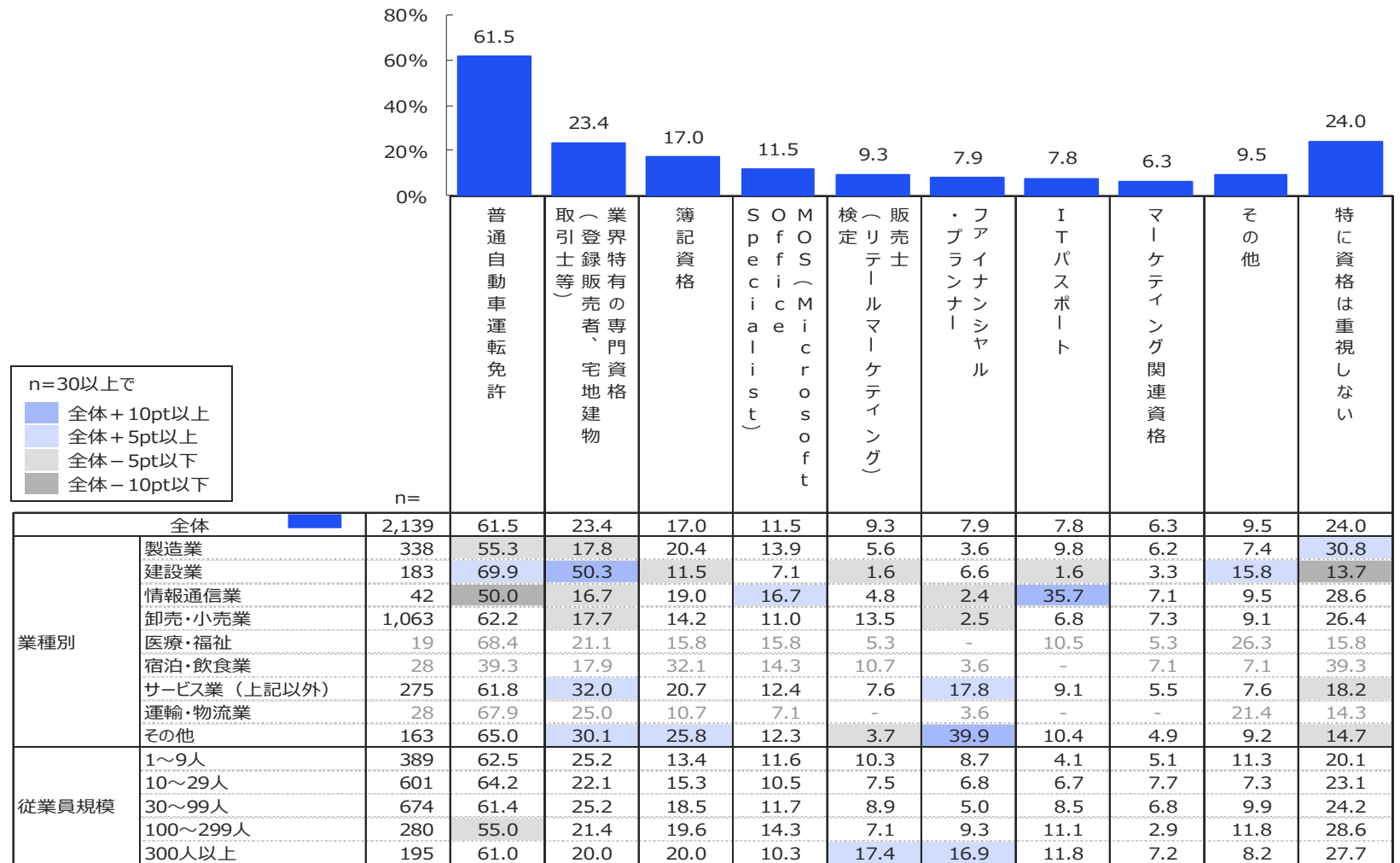
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q3_3_1 【事務職】採用時に評価する主な資格をすべて選んでください。（MA）【採用予定が事務職の人ベース】

【営業・販売職】採用時に評価する主な資格

- ・【全体】をみると「普通自動車運転免許」が最も高く61.5%。次いで「業界特有の専門資格」（23.4%）と続く。
- ・【建設業】では「普通自動車運転免許」「業界特有の専門資格」の保有に対して評価しており、【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- ・【情報通信業】では「ITパスポート」が35.7%に上り、他の業界と比較して高い結果となった。

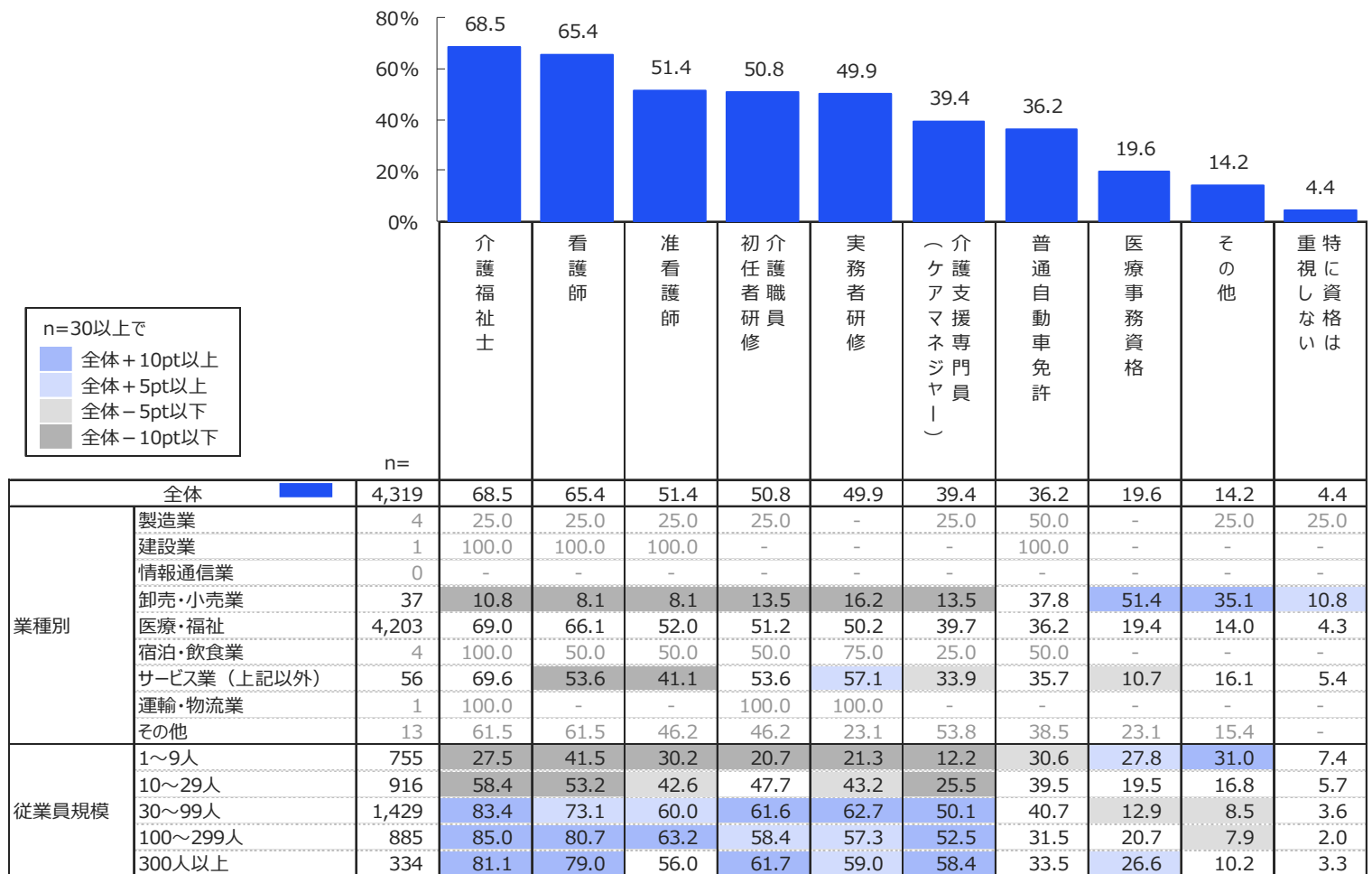


※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

【医療・介護職】採用時に評価する主な資格

- ・【全体】をみると「介護福祉士」が最も高く68.5%。次いで「看護師」（65.4%）と続く。
- ・「特に資格は重視しない」が4.4%となっており、資格保有者に対しては一定の評価をしていることがうかがえる。

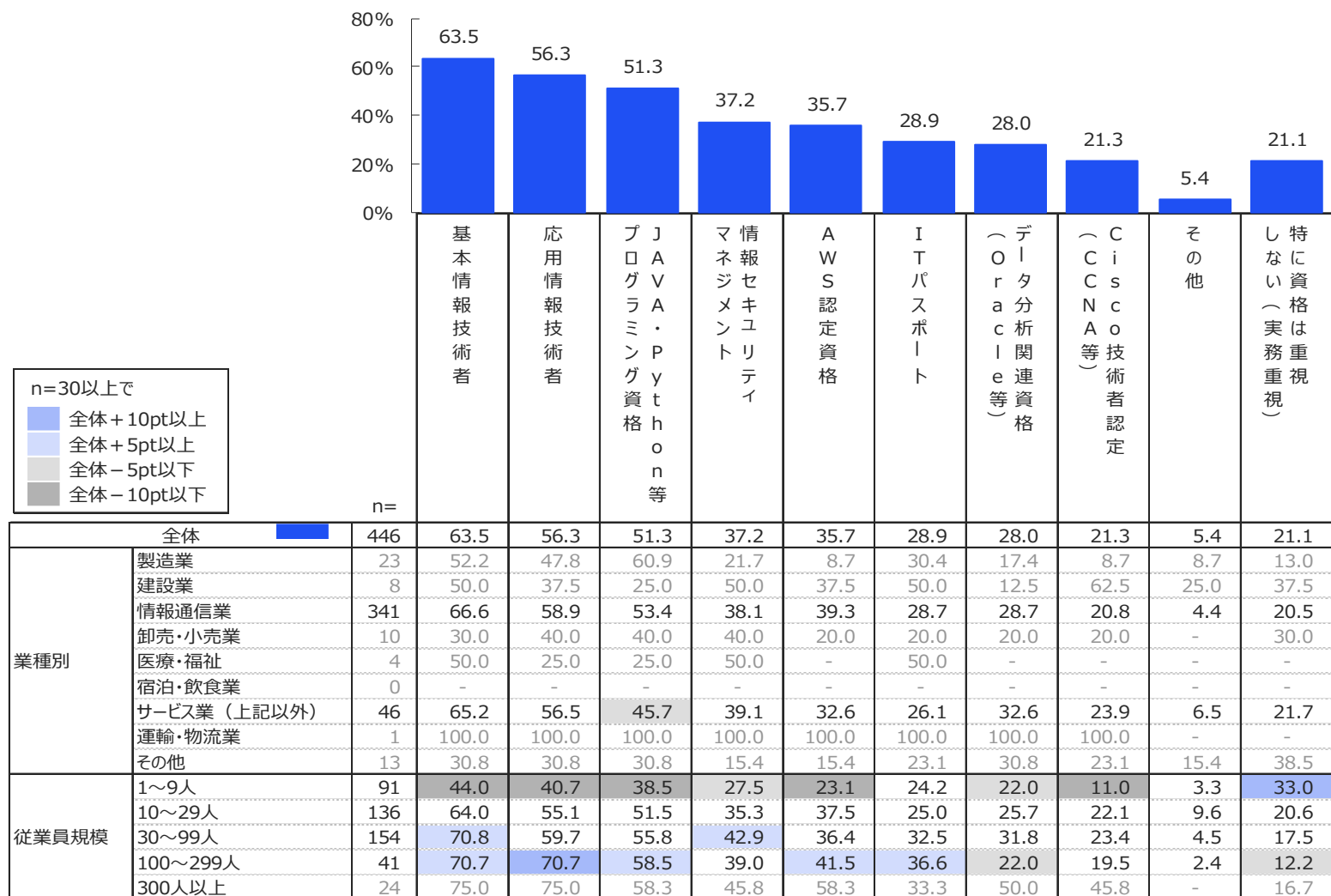


※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

【IT関連職】採用時に評価する主な資格

- ・【全体】をみると「基本情報技術者」が最も高く63.5%。次いで「応用情報技術者」（56.3%）と続く。
- ・従業員規模でみると【100～299人】では「基本情報技術者」「応用情報技術者」への評価が7割超となった。



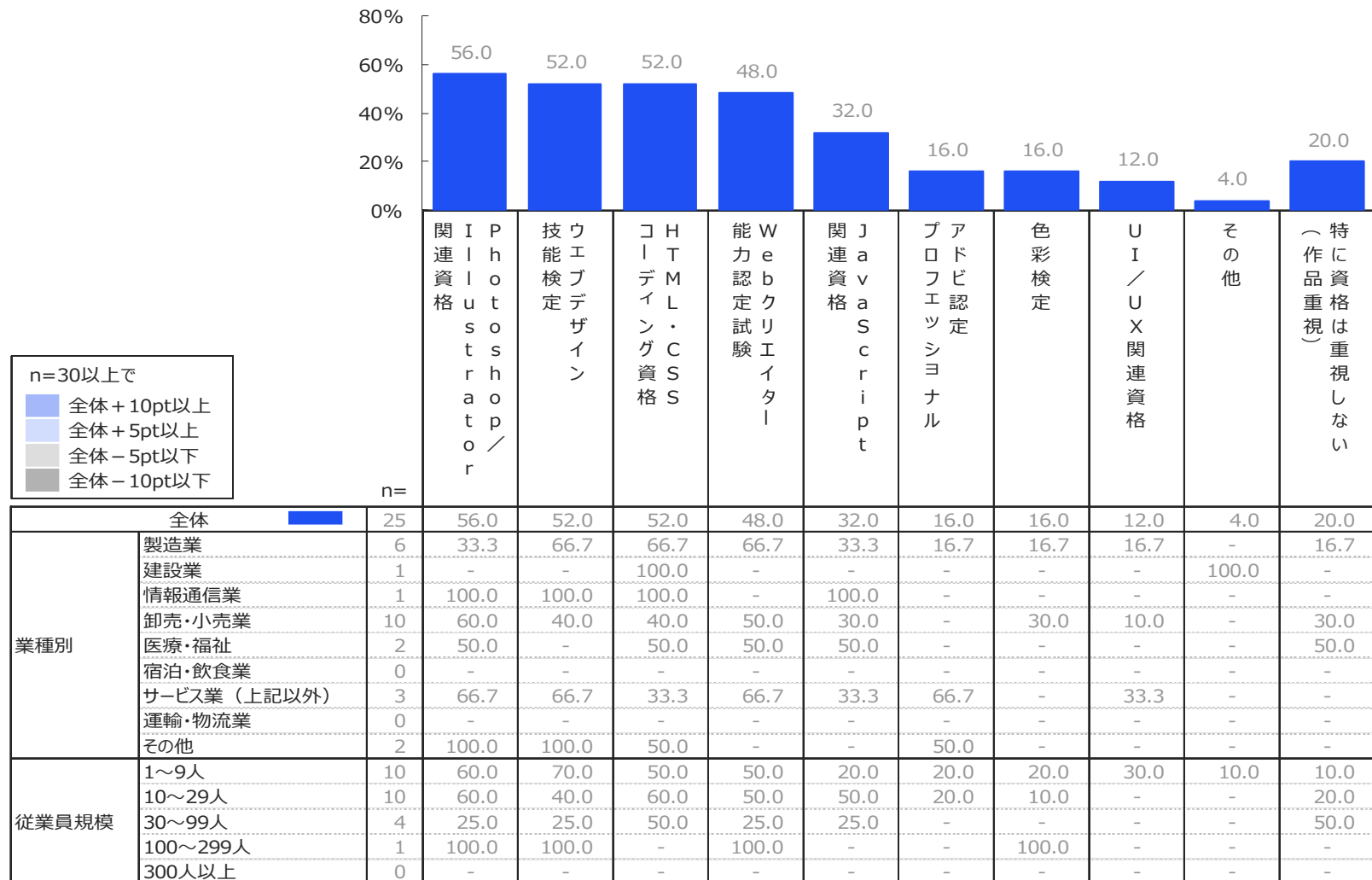
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q3_3_4 【IT関連職】採用時に評価する主な資格をすべて選んでください。(MA)【採用予定がIT関連職の人ベース】

【WEBデザイン職】採用時に評価する主な資格

- 参考値ではあるものの、【全体】をみると「Photoshop/Illustrator関連資格」が最も高く56.0%。次いで「ウェブデザイン技能検定」「HTML・CSSコーディング資格」（52.0%）と続く。



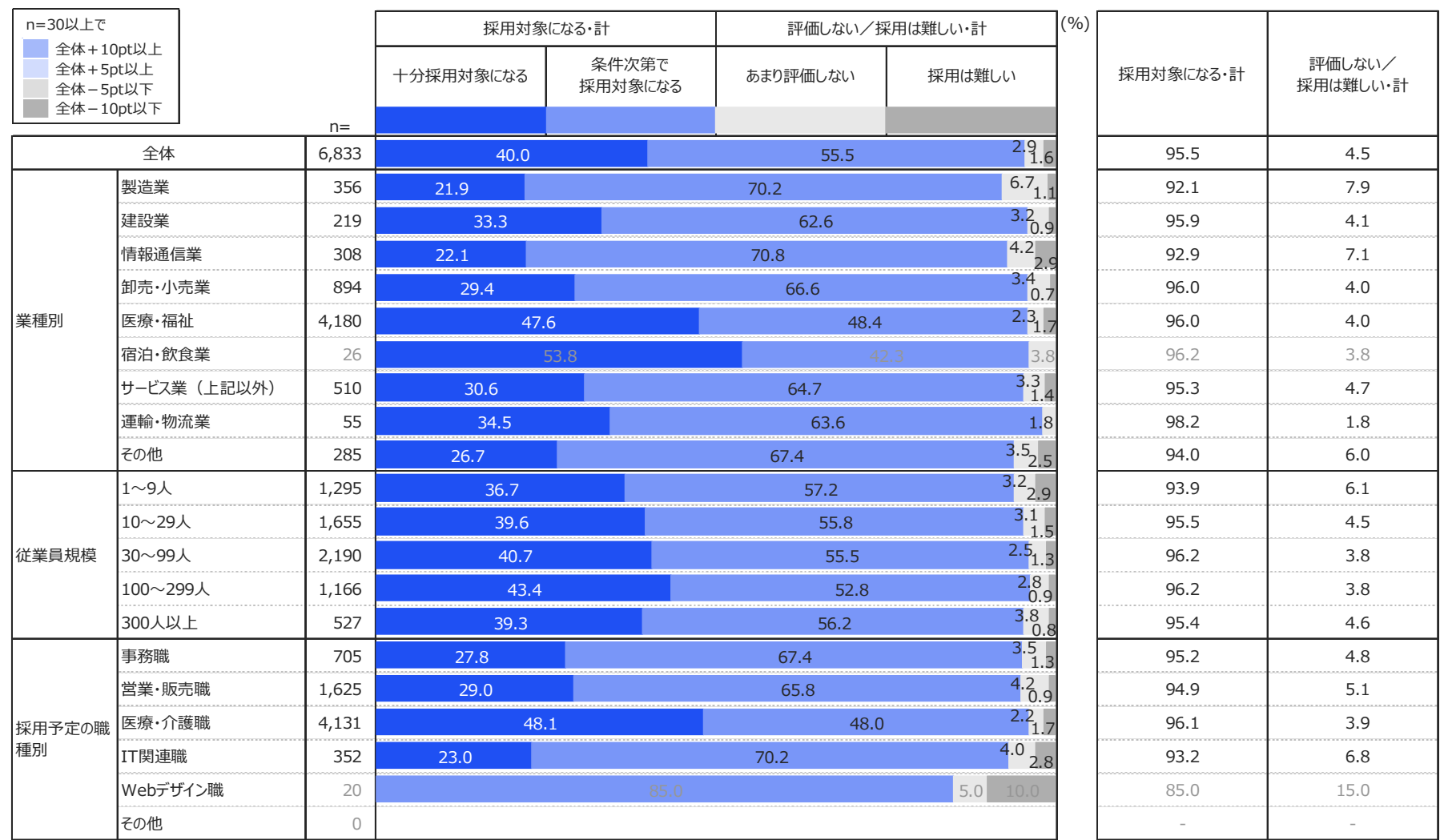
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q3_3_5 【WEBデザイン職】採用時に評価する主な資格をすべて選んでください。（MA）【採用予定がWEBデザインの人ベース】

実務未経験かつ有資格者の採用の可能性

- 【全体】をみると「採用対象になる・計」が95.5%に上り、資格保有者に対しての評価が高いことがうかがえる。
- 特に【医療・介護職】では「十分採用対象になる」が48.1%と【全体】と比べて5pt以上高くなった。

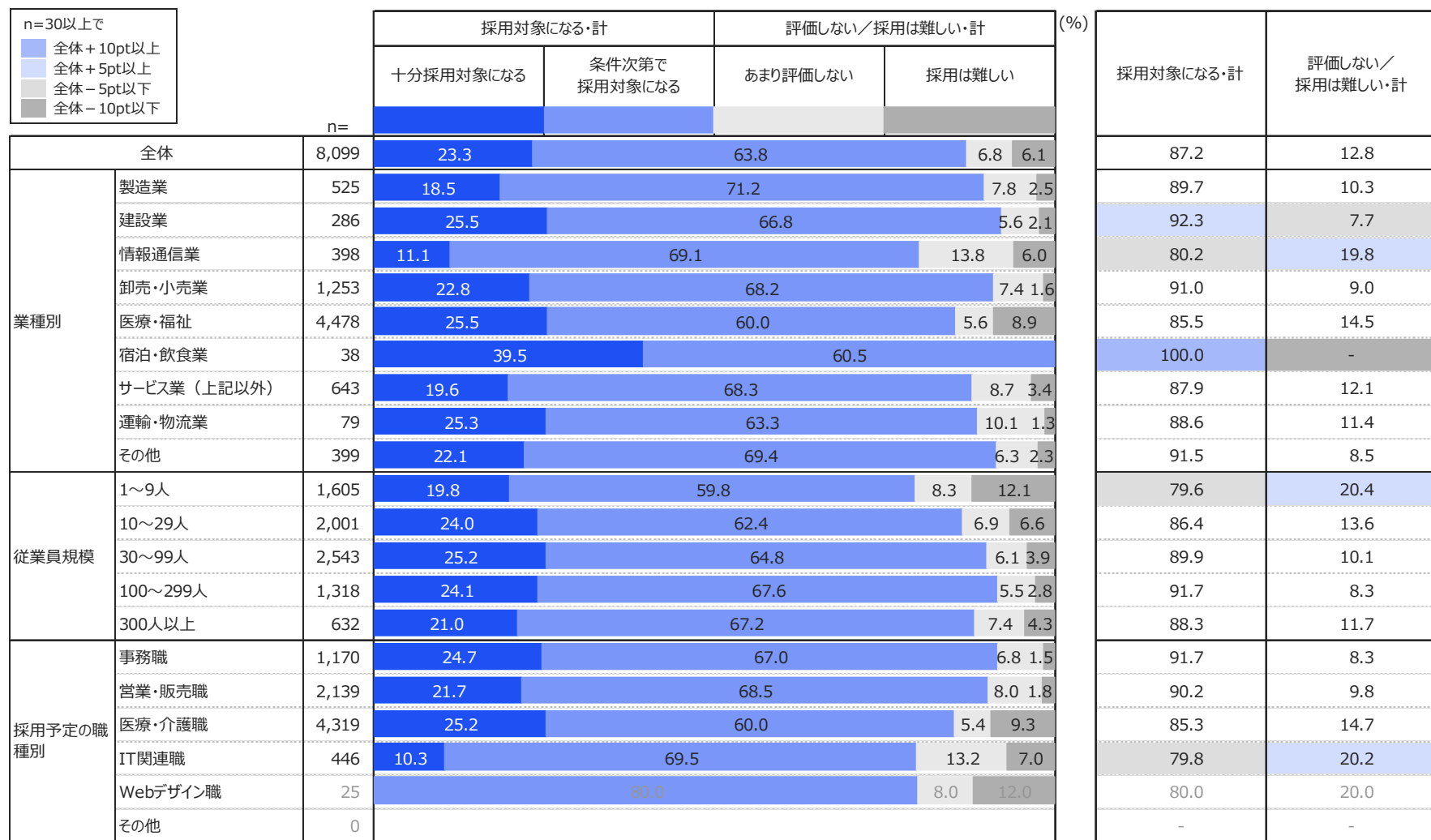


※n=30未満は参考値のため灰色。

Q3_4 実務経験はないものの、評価する資格（前問で選択した資格）を保有している応募者について、採用の可能性として最も近いものを1つ選んでください。（SA）
【採用予定の職種において、採用時に資格を評価している人ベース】

公的職業訓練修了生かつ無資格者の採用の可能性

- 【全体】をみると「採用対象になる・計」が87.2%となった。
- 【建設業】では「採用対象になる・計」が92.3%となり、【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- 【宿泊・飲食業】では「採用対象になる・計」が100%となった。

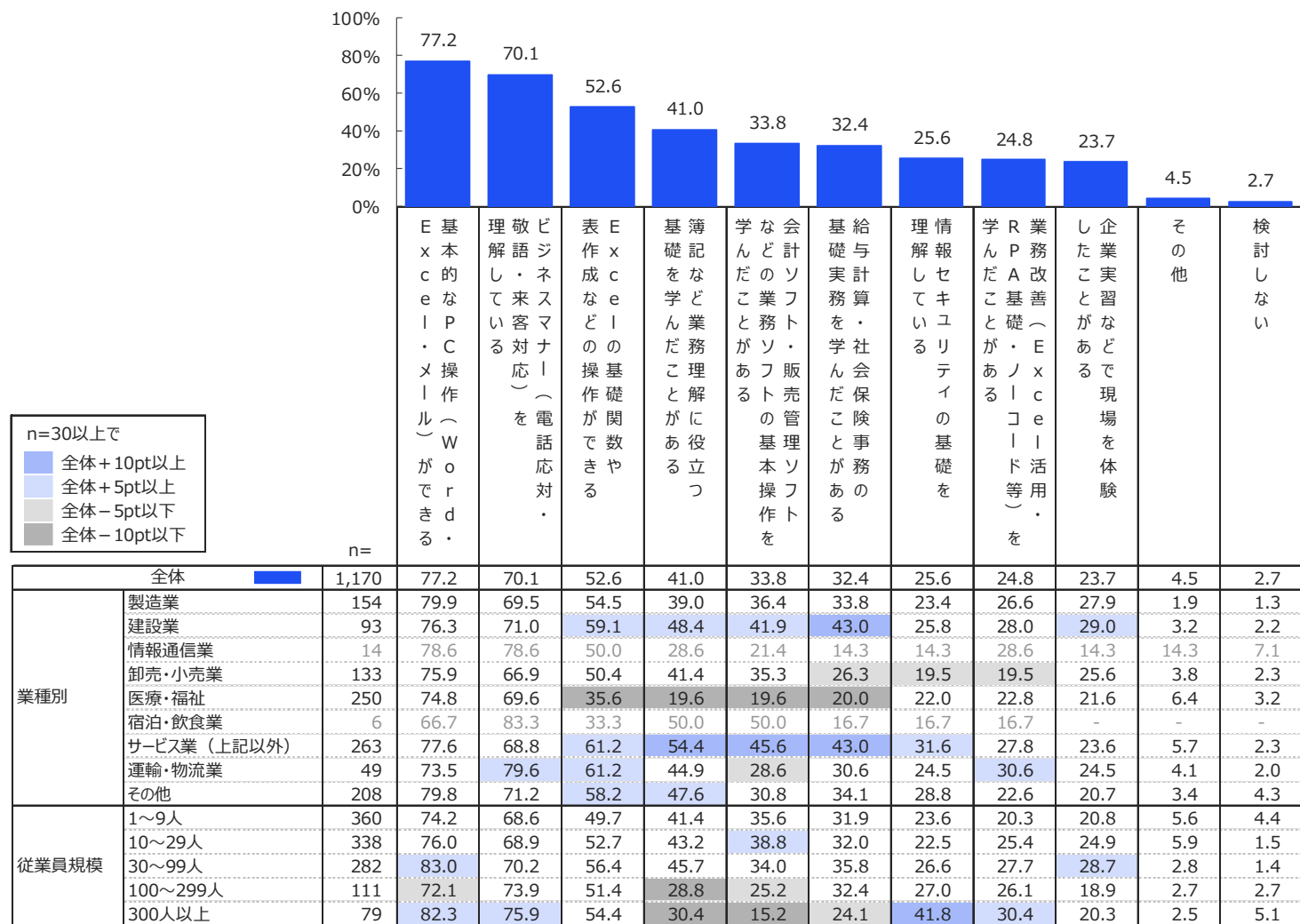


※n=30未満は参考値のため灰色。

Q3_5 資格は保有していないものの、公的職業訓練で一定のスキルを習得した応募者について、採用の可能性として最も近いものを1つ選んでください。（SA）【採用予定の職種が「その他」以外の人ベース】

【事務職】実務経験・資格不足時の採用検討条件

- 【全体】をみると「基本的なPC操作ができる」が最も高く77.2%。次いで「ビジネスマナーを理解している」（70.1%）と続く。
- 【建設業】【サービス業（上記以外）】では、資格や実務経験がなくても、知識の習得に取り組んでいるかどうかを採用検討の条件にしていることがうかがえる。



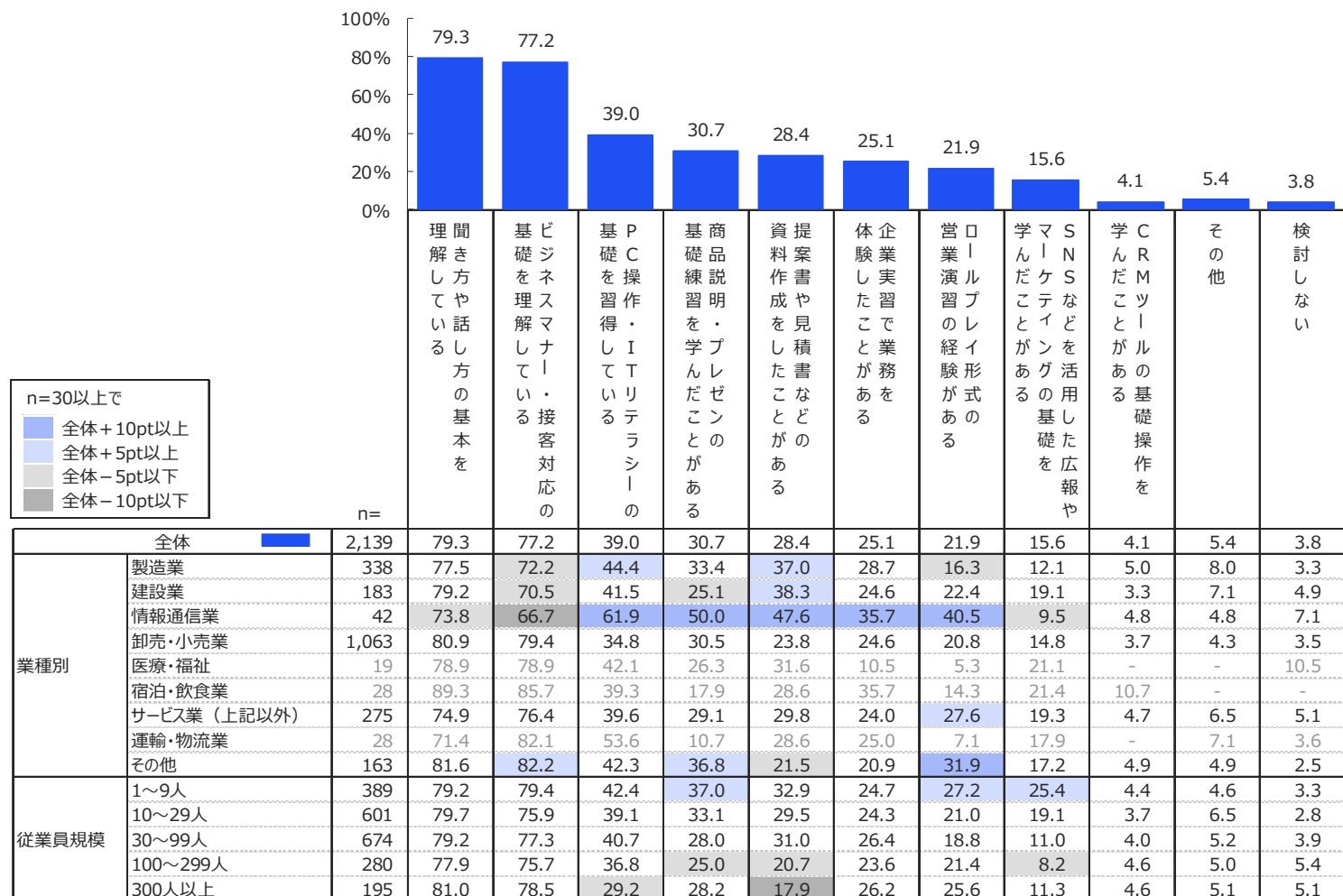
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q3_6_1 【事務職】実務経験や資格が不足している場合でも採用を検討する条件をすべて選んでください。（MA）【採用予定が事務職の人ベース】

【営業・販売職】実務経験・資格不足時の採用検討条件

- 【全体】をみると「聞き方や話し方の基本を理解している」が最も高く79.3%。次いで「ビジネスマナー・接客対応の基礎を理解している」（77.2%）と続く。
- 【製造業】【建設業】【情報通信業】では「提案書や見積書などの資料作成をしたことがある」が【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- 従業員規模【1～9人】では「商品説明・プレゼンの基礎練習を学んだことがある」「ロールプレイ形式の営業演習の経験がある」「SNSなどを活用した広報やマーケティングの基礎を学んだことがある」が【全体】と比べて5pt以上高く、より実践に近い内容を取り組んでいたかどうかを採用検討の条件になることがうかがえる。

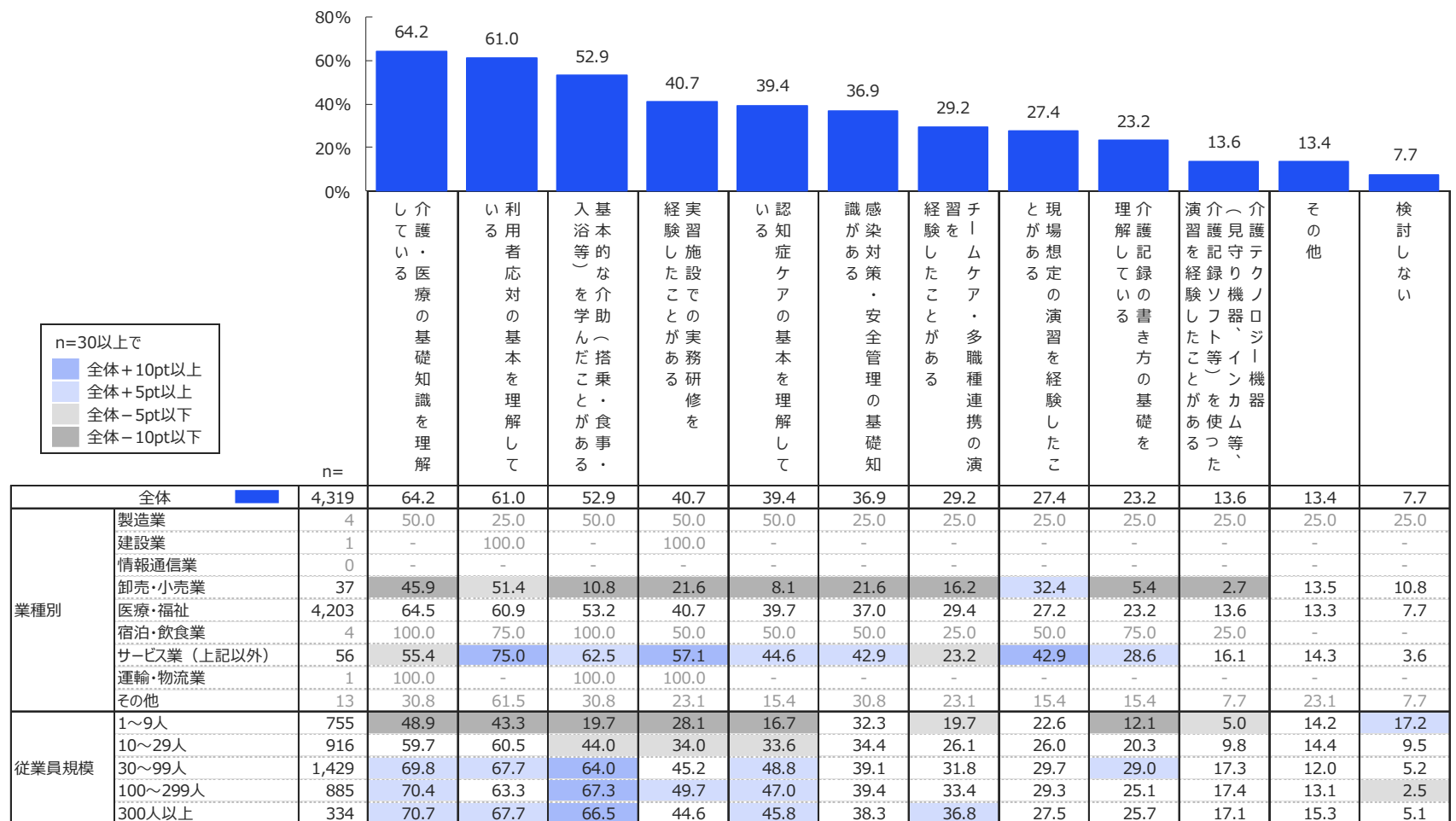


※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

【医療・介護職】実務経験・資格不足時の採用検討条件

- ・【全体】をみると「介護・医療の基礎知識を理解している」が最も高く64.2%。次いで「利用者対応の基礎を理解している」（61.0%）と続く。
- ・従業員規模【30～99人】【100～299人】【300人以上】をみると「基本的な介助を学んだことがある」が【全体】と比べて10pt以上高くなった。
- ・【サービス業（上記以外）】では「利用者対応の基本を理解している」が7割を超えており、【全体】と比べて10pt以上高くなった。また「実習施設での実務研修を経験したことがある」「現場想定の実習を経験したことがある」も【全体】と比べて10pt以上高くなった。



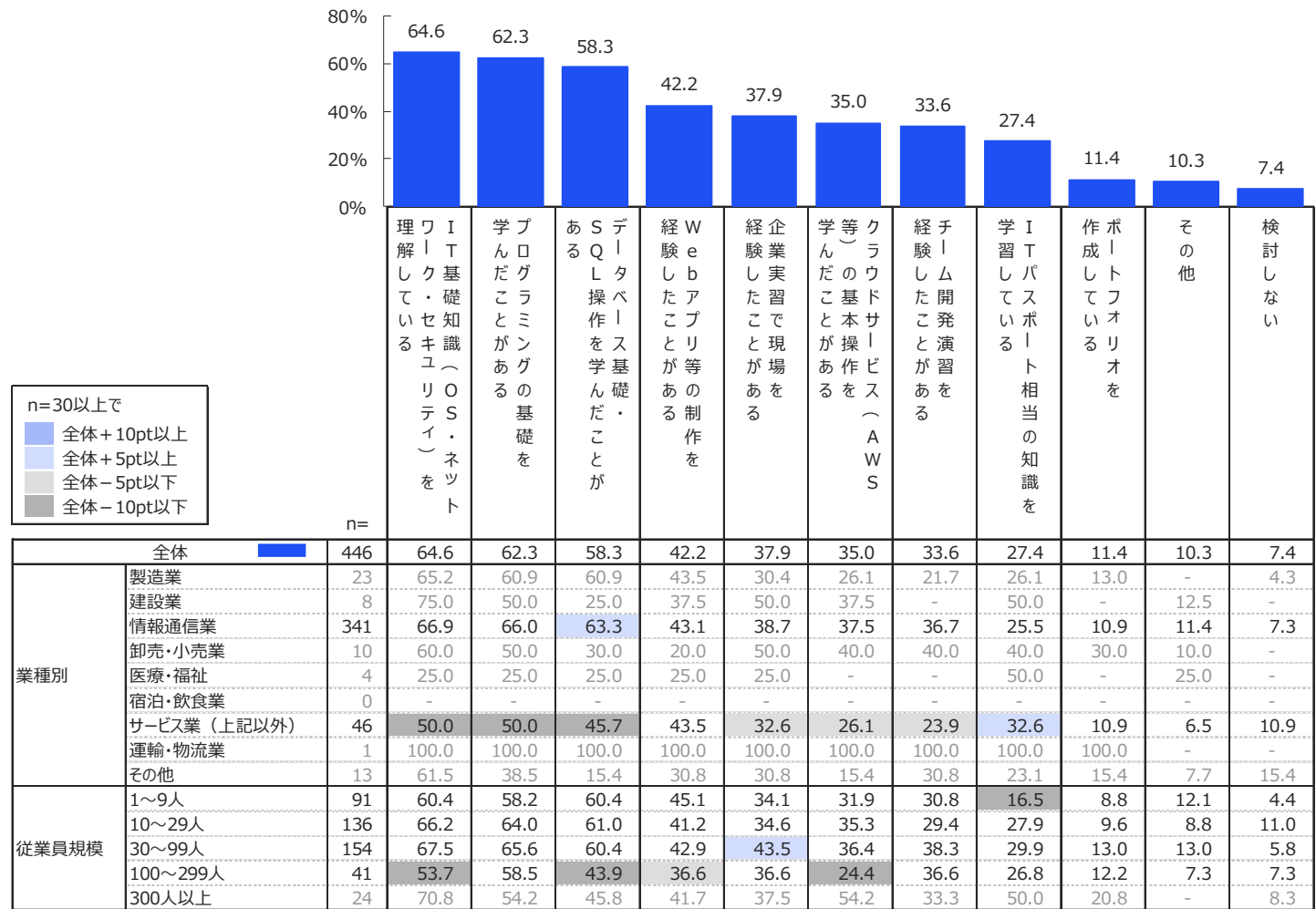
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q3_6_3 【医療・介護職】実務経験や資格が不足している場合でも採用を検討する条件をすべて選んでください。（MA）【採用予定が医療・介護職の人ベース】

【IT関連職】実務経験・資格不足時の採用検討条件

- 【全体】をみると「IT基礎知識を理解している」が最も高く64.6%。次いで「プログラミングの基礎を学んだことがある」（62.3%）と続く。
- 【情報通信業】では「データベースの基礎・SQL操作を学んだことがある」が【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- 【サービス業（上記以外）】では「ITパスポート相当の知識を学習している」が【全体】と比べて5pt以上高くなった。

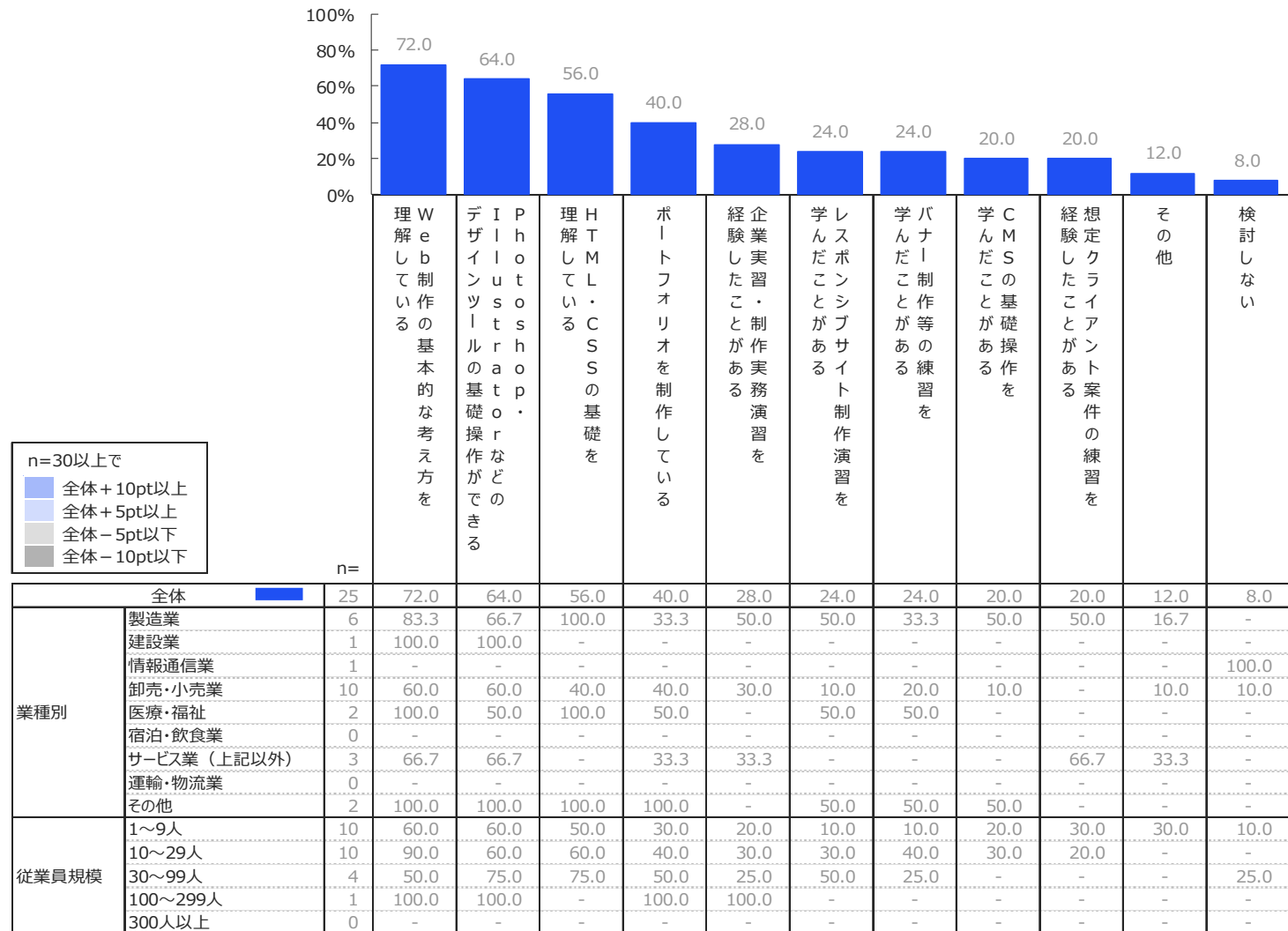


※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

【WEBデザイン職】実務経験・資格不足時の採用検討条件

- 参考値ではあるが、【全体】をみると「Web制作の基本的な考え方を理解している」が最も高く72.0%。次いで「Photoshop・Illustratorなどのデザインツールの基礎操作ができる」（64.0%）と続く。

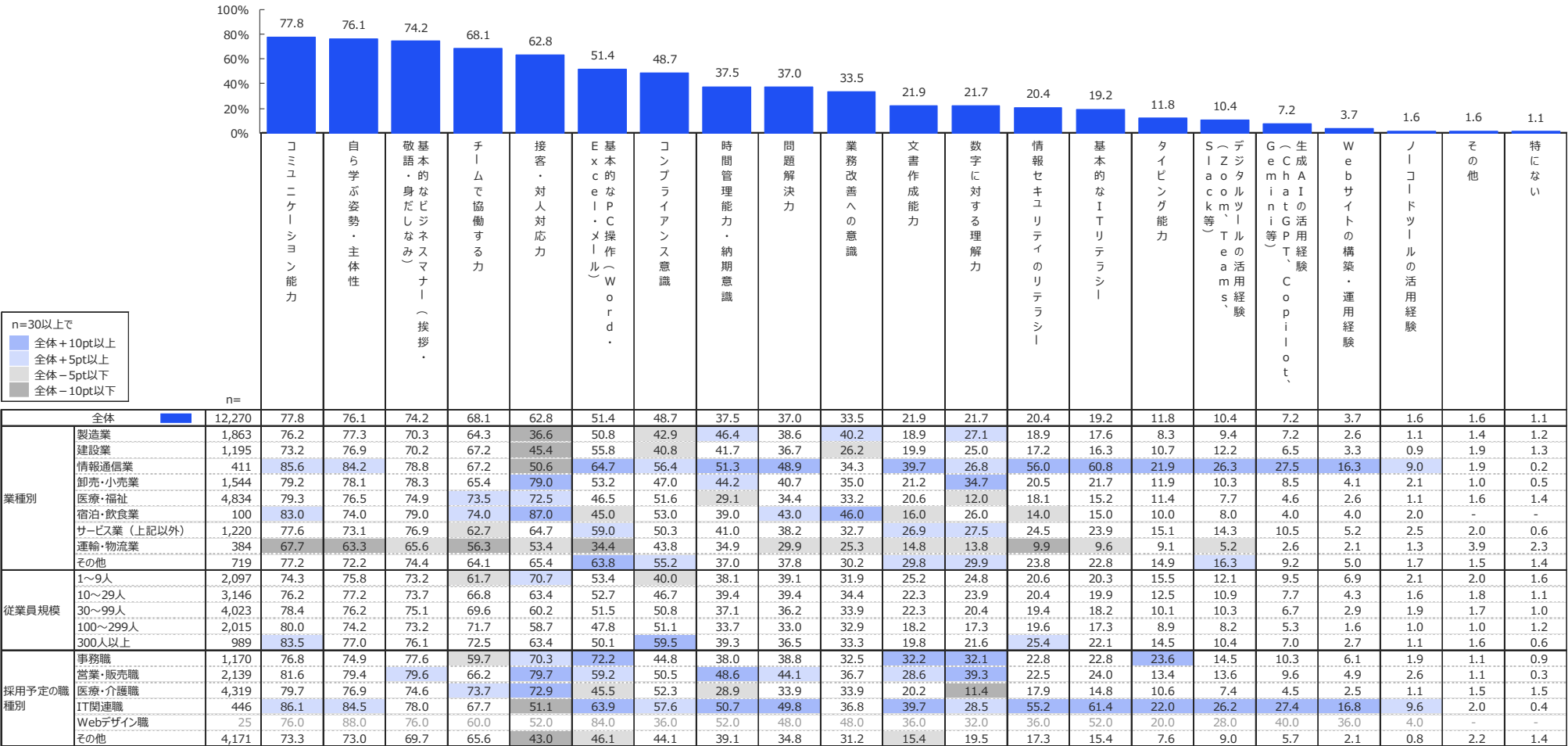


※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

採用時に求めるスキル・リテラシー

- 【全体】をみると「コミュニケーション能力」が最も高く77.8%。次いで「自ら学ぶ姿勢・主体性」（76.1%）と続く。
- 【営業・販売職】【医療・介護職】【事務職】では「接客・対人対応力」が7割を超えており、【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- 【事務職】【IT関連職】では「基本的なPC操作」が【全体】と比べて10pt以上高くなった。
- 【IT関連職】では「情報セキュリティのリテラシー」「基本的なITリテラシー」が半数を超えており、他の職種と比べて高くなった。



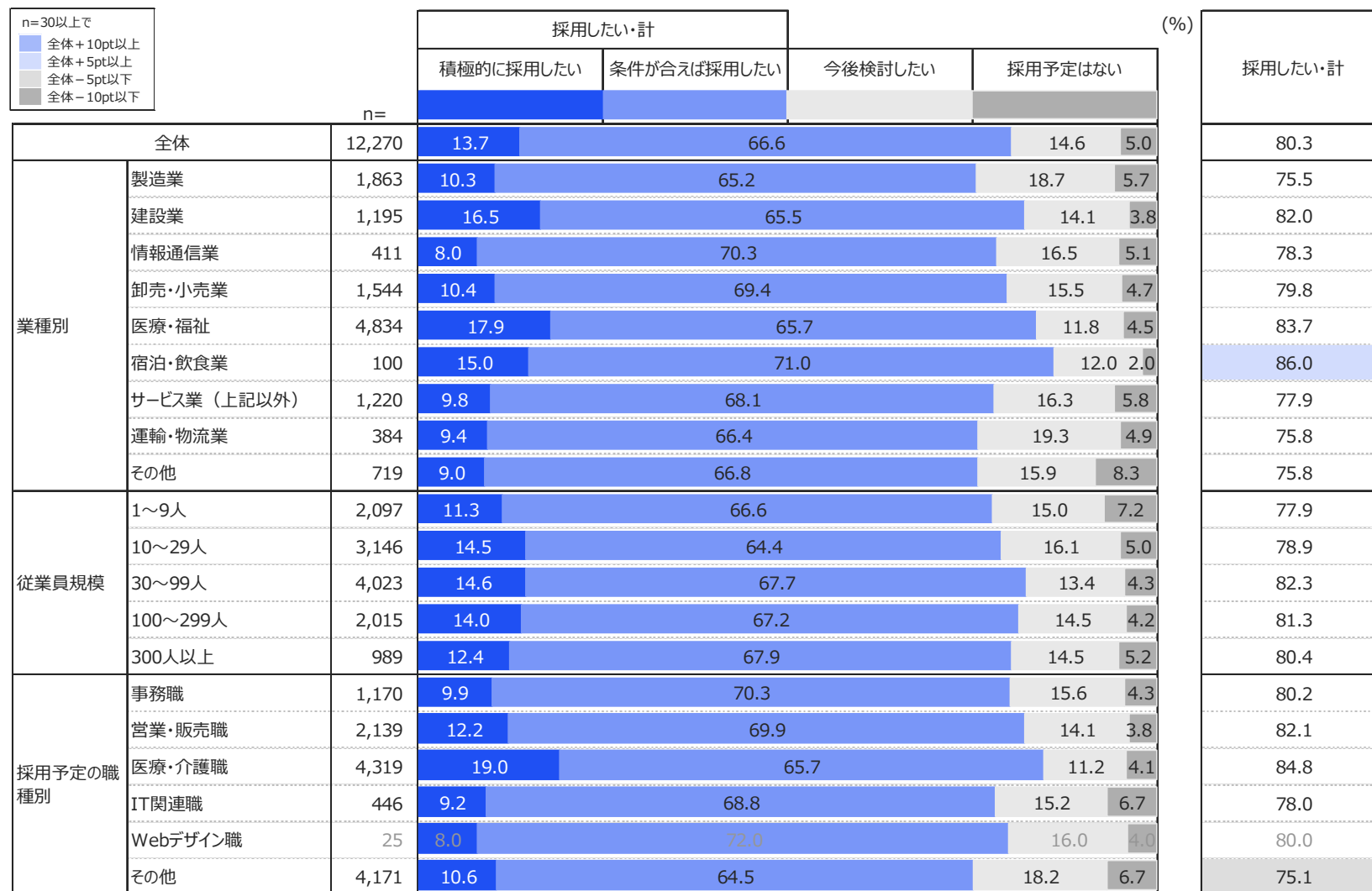
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q3_7 実務経験や資格の有無に関わらず、採用にあたって「できれば備えてほしい」と考えるスキル・リテラシーは何ですか。（MA）

公的職業訓練修了者の採用意向

- ・【全体】をみると公的職業訓練修了者への採用意向「採用したい・計」は80.3%となった。
- ・【宿泊・飲食業】では「採用したい・計」が86.0%となり、【全体】と比べて5pt以上高くなった。



※n=30未満は参考値のため灰色。

Q3_8 公的職業訓練の修了者について、採用意向として最も近いものを1つ選んでください。（SA）

公的職業訓練修了者向けの「歓迎求人」提出意向

- 【全体】をみると「すでに提出している」割合は4.0%となっており、また、「今後提出したい」は15.0%、「必要があれば提出を検討する」は61.5%と、7割以上が提出意向があることがうかがえる。

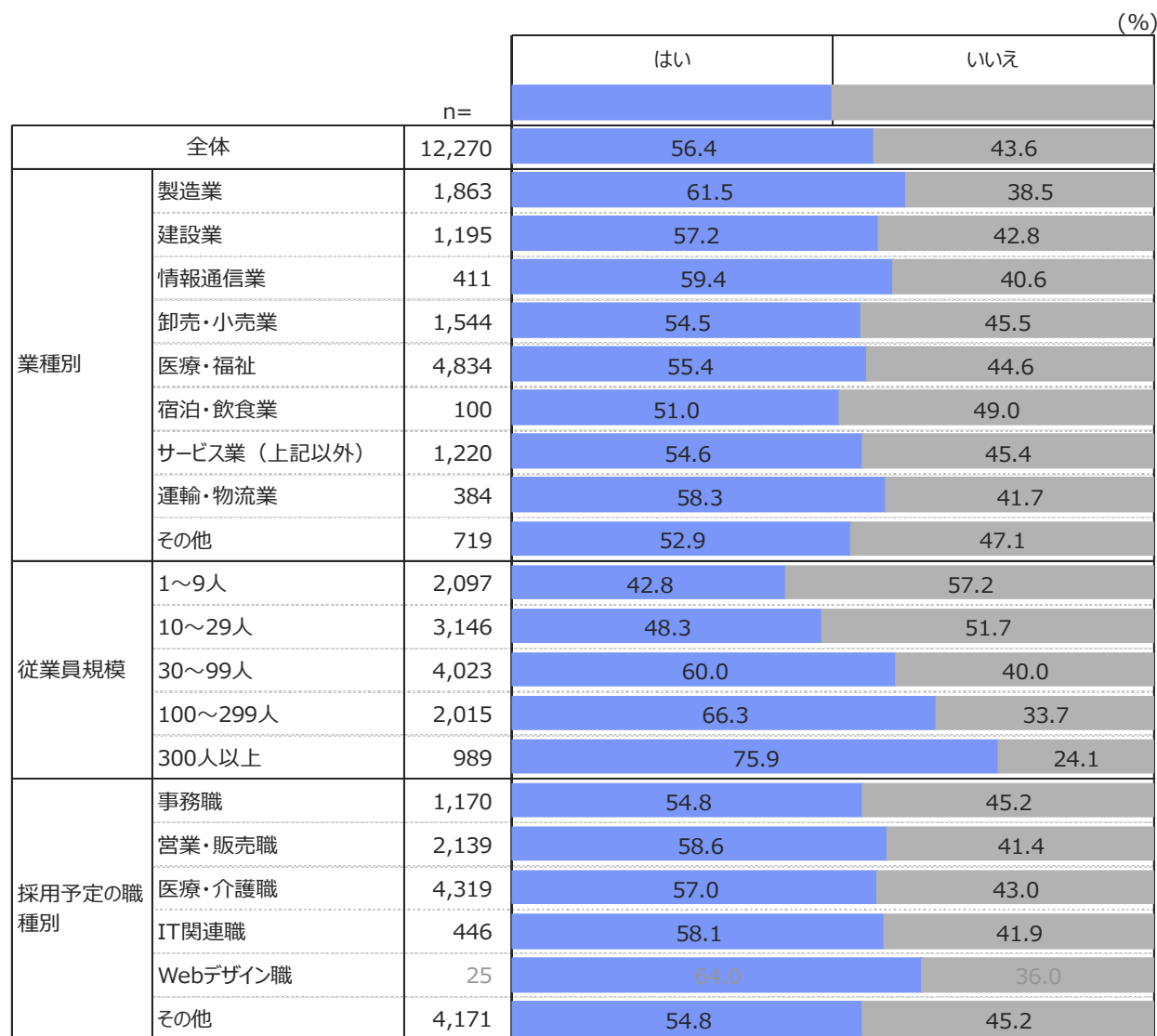
			(%)			
			すでに提出している	今後提出したい	必要があれば提出を検討する	現時点では提出する予定はない
n=						
全体		11,652	4.0	15.0	61.5	19.5
業種別	製造業	1,756	5.3	14.0	59.7	21.0
	建設業	1,149	7.4	17.6	61.6	13.4
	情報通信業	390	11.8	14.9	52.1	21.3
	卸売・小売業	1,471	2.9	10.8	64.2	22.2
	医療・福祉	4,615	2.8	17.5	62.7	17.0
	宿泊・飲食業	98	1.0	14.3	69.4	15.3
	サービス業（上記以外）	1,149	3.6	13.8	60.1	22.6
	運輸・物流業	365	2.7	10.1	63.6	23.6
	その他	659	3.0	9.7	58.1	29.1
従業員規模	1～9人	1,947	3.2	15.0	59.0	22.8
	10～29人	2,988	3.5	15.5	61.6	19.4
	30～99人	3,849	4.4	15.4	62.6	17.6
	100～299人	1,930	4.5	14.1	62.7	18.7
	300人以上	938	4.6	13.4	60.1	21.9
採用予定の職種別	事務職	1,120	3.5	12.1	59.2	25.3
	営業・販売職	2,057	3.5	12.0	62.9	21.7
	医療・介護職	4,143	3.0	18.4	63.3	15.4
	IT関連職	416	11.3	15.6	52.6	20.4
	Webデザイン職	24	4.2	8.3	58.3	29.2
	その他	3,892	4.8	13.7	60.7	20.8

※n=30未満は参考値のため灰色。

Q3_8_2 前問で「積極的に採用したい」「条件が合えば採用したい」「今後検討したい」いずれかを選択した方にお伺いします。公的職業訓練修了者を対象とした「歓迎求人」について、最も近いものを1つ選んでください。（SA）【訓練修了生への採用意向・検討ありの人ベース】

DXを経営課題として位置付けているか

- 「DXを経営課題と位置付けている」と回答した割合は【全体】で56.4%となった。



※n=30未満は参考値のため灰色。

DXの取組状況

- ・【全体】をみると「全社的にデジタル化・DXを推進している」と回答したのは33.8%であった。
- ・【情報通信業】では半数以上が「全社的にデジタル化・DXを推進している」と回答し、他の業種と比べて高くなった。
- ・【宿泊・飲食業】では「一部の業務で限定的にデジタル化を進めている」が半数超となった。

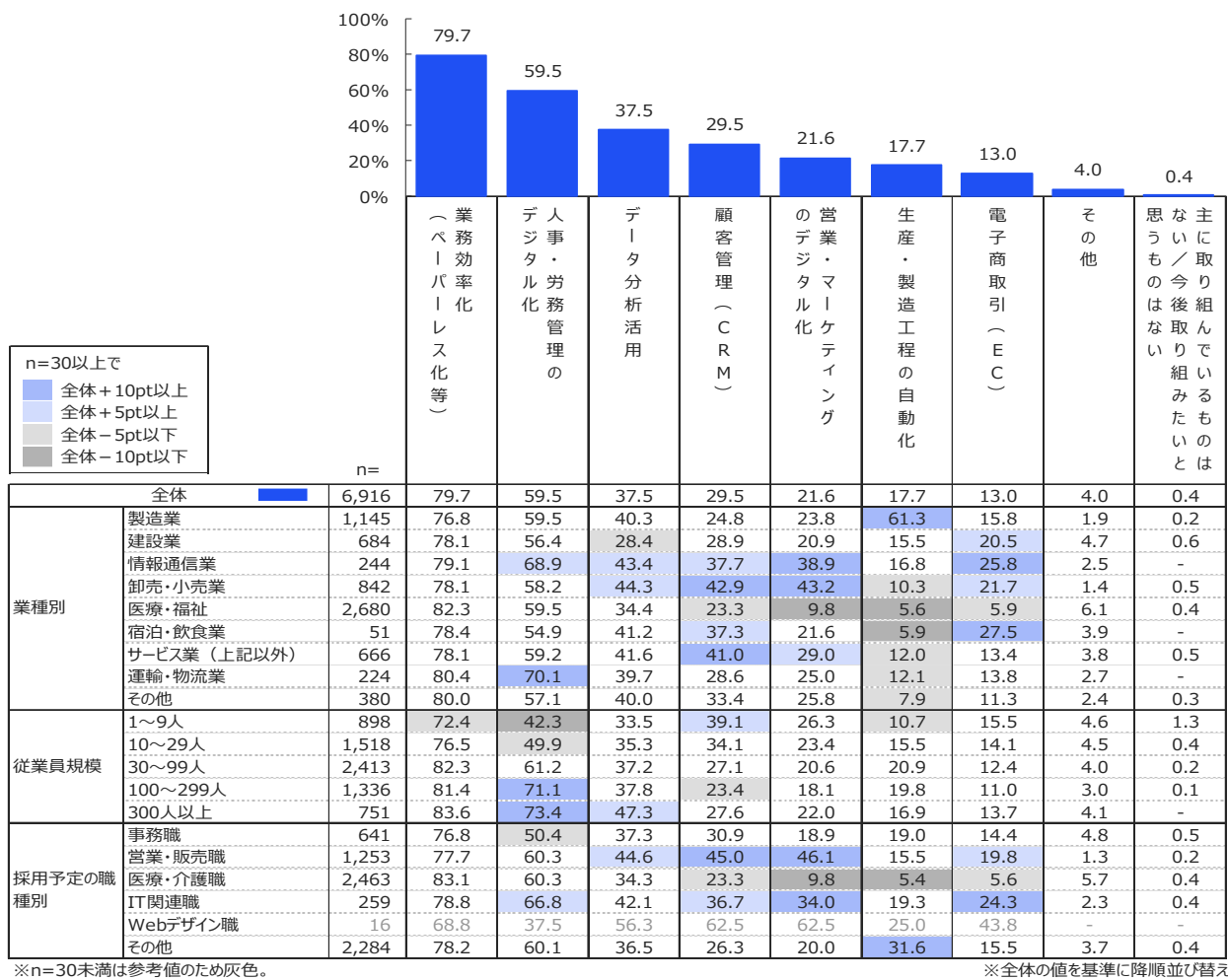
</

※n=30未満は参考値のため灰色。

Q4_2 DXの取組状況について、最も当てはまるものを1つ選んでください。（SA）【DXを経営課題として位置付けている企業ベース】

主に取り組んでいる / 今後取り組みたいDX分野

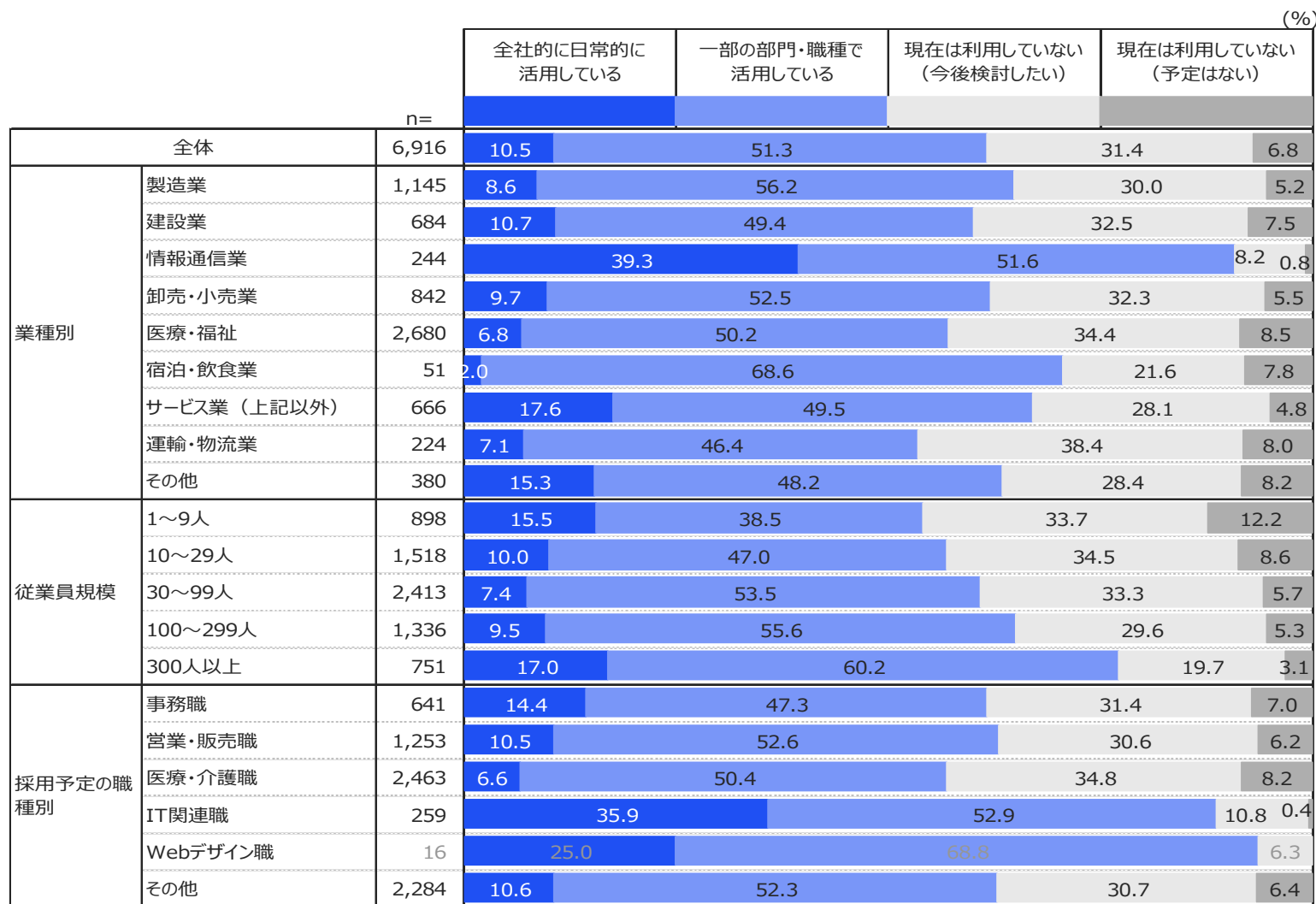
- 【全体】をみると「業務効率化」が最も高く79.7%。次いで「人事・労務管理のデジタル化」（59.5%）と続く。
- 【製造業】では「生産・製造工程の自動化」が6割を超え、業界特有のDXの取り組みであることがうかがえる。
- 【運輸・物流業】では「人事・労務管理のデジタル化」が7割を超え、【全体】と比べて10pt以上高くなった。
- 従業員規模が大きくなるほど、「人事・労務管理のデジタル化」に対する意識が高まる傾向があり、【100～299人】【300人以上】では7割超となった。



Q4_3 主に取り組んでいる、または今後取り組みたいDX分野について、当てはまるものをすべて選んでください。（MA）【DXを経営課題として位置付けている企業ベース】

生成AIの業務利用状況

- ・【全体】をみると「全社的に日常的に活用している」が1割程度、「一部の部門・職種で活用している」は半数程度となった。
- ・【情報通信業】では「全社的に日常的に活用している」が4割近く、「一部の部門・職種で活用している」は半数程度となり、活用している割合は9割となった。

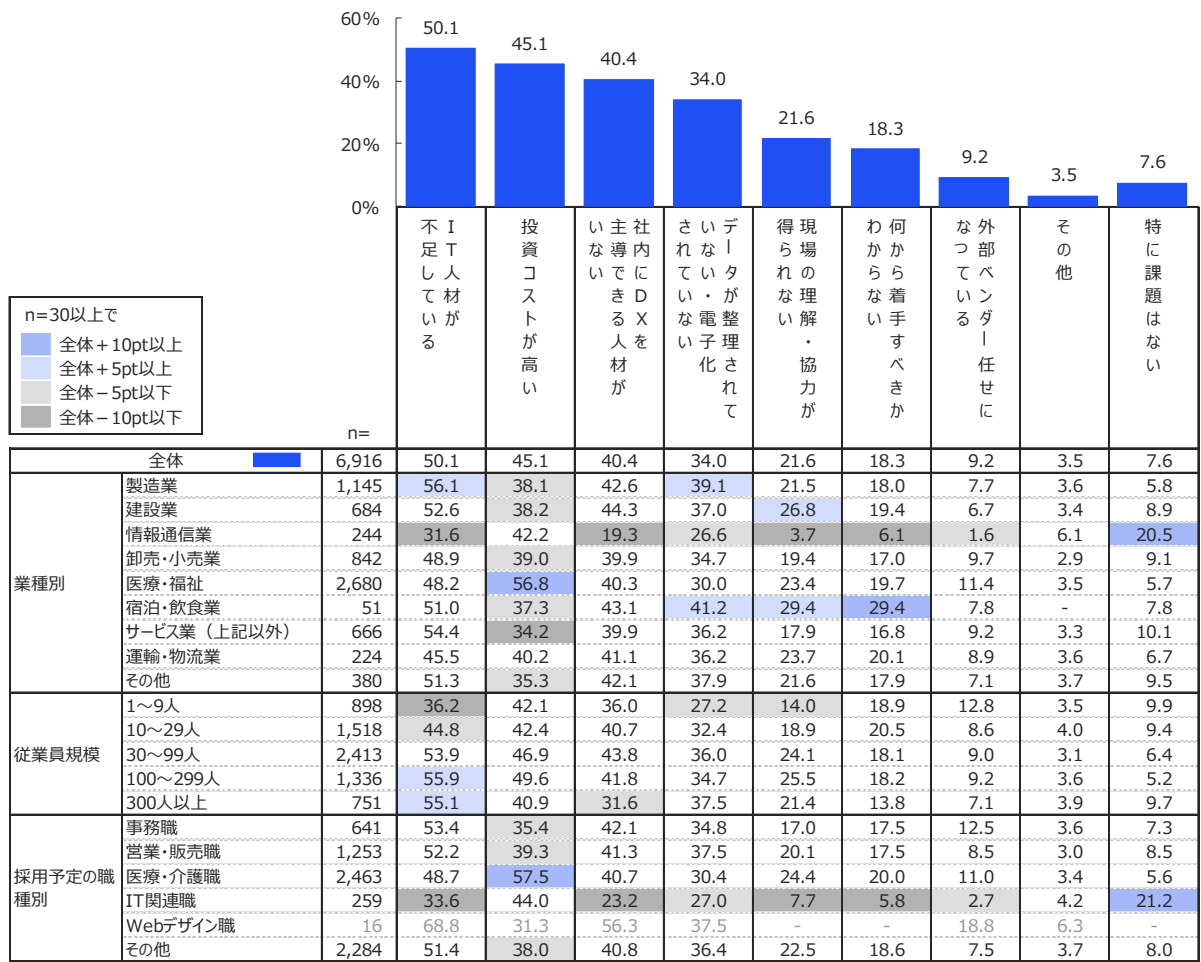


※n=30未満は参考値のため灰色。

Q4_4 生成AIの業務利用状況について、最も当てはまるものを1つ選んでください。（SA）【DXを経営課題として位置付けている企業ベース】

DX推進における課題

- 【全体】をみると「IT人材が不足している」が最も高く50.1%。次いで「投資コストが高い」（45.1%）と続く。
- 【医療・福祉】では「投資コストが高い」が56.8%と、他の業種と比べて10pt以上高くなった。
- 【製造業】では、「IT人材が不足している」「データが整理されていない・電子化されていない」が【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- 【宿泊・飲食業】では「何から着手すべきかわからない」が3割近くとなり、【全体】と比べて10pt以上高くなった。



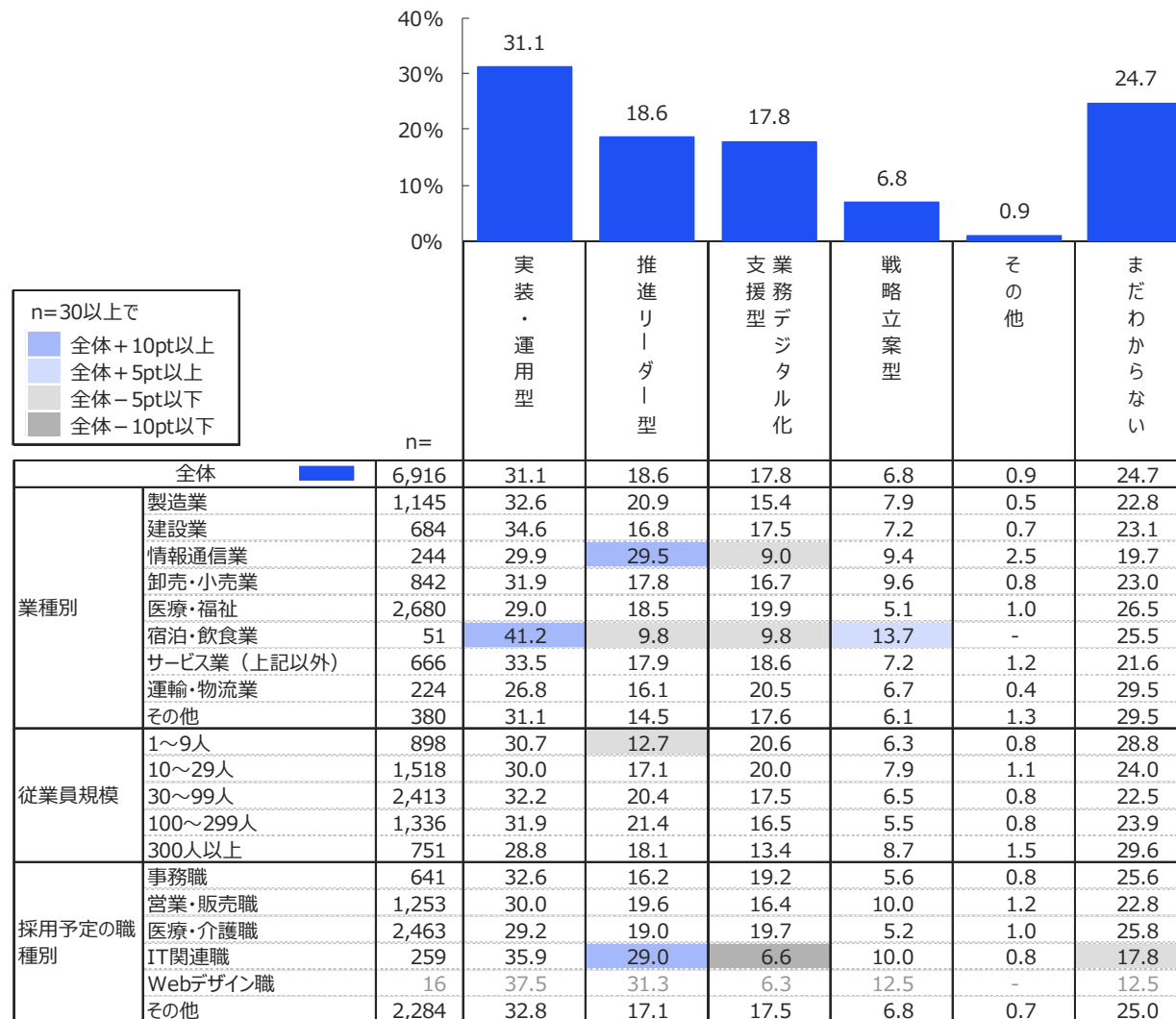
※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q4_5 DX推進における課題として当てはまるものをすべて選んでください。（MA）【DXを経営課題として位置付けている企業ベース】

採用したいDX人材のタイプ

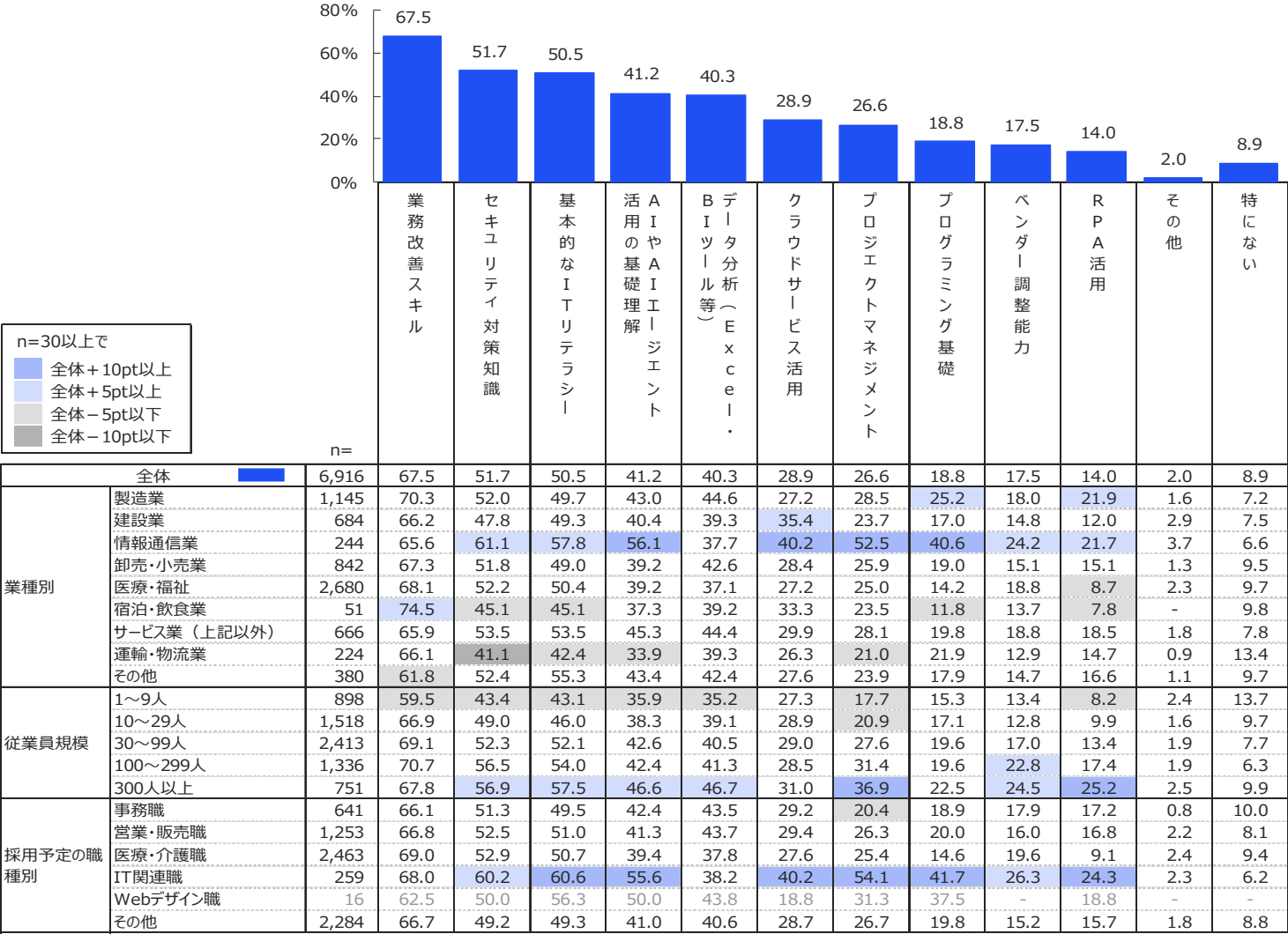
- ・【全体】をみると「実装・運用型」が最も高く31.1%。次いで「推進リーダー型」（18.6%）と続く。
- ・【宿泊・飲食業】では「戦略立案型」が13.7%と【全体】と比べて5pt以上高くなった。
- ・【情報通信業】では「推進リーダー型」が29.5%と【全体】と比べて10pt以上高くなった。



※n=30未満は参考値のため灰色。

DX人材に求めるスキル

- 【全体】をみると「業務改善スキル」が最も高く67.5%。次いで「セキュリティ対策知識」（51.7%）と続く。
- 【情報通信業】では「業務改善スキル」「セキュリティ対策知識」だけでなく「基本的なITリテラシー」「AIやAIエージェント活用の基礎理解」「プロジェクトマネジメント」「AIやAIエージェント活用の基礎理解」「プロジェクトマネジメント」も半数を超え、【全体】と比べて5pt以上高くなった。

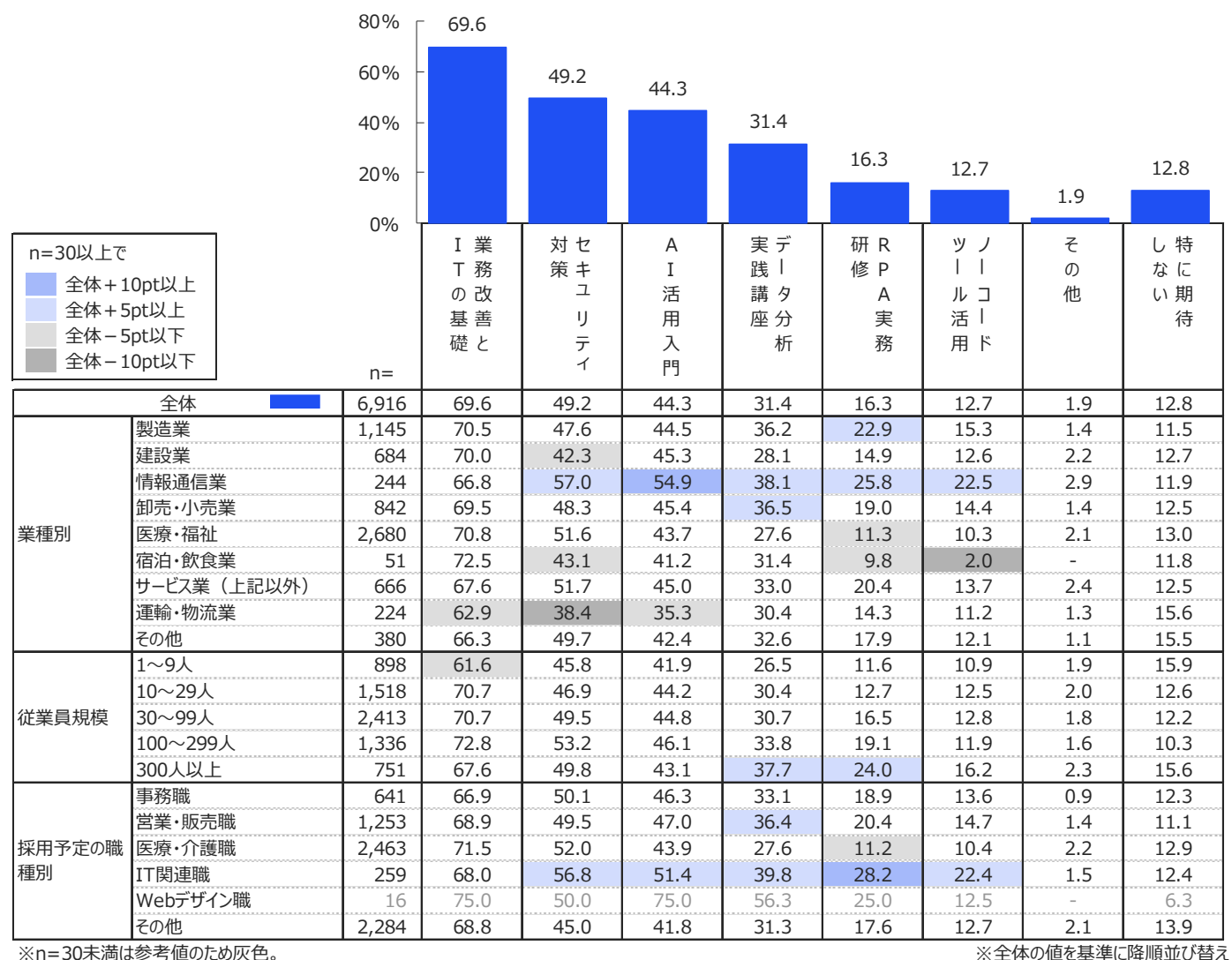


※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

公的職業訓練に期待するDX関連の内容

- ・【全体】をみると「業務改善とITの基礎」が最も高く69.6%。次いで「セキュリティ対策」（49.2%）と続く。
- ・【情報通信業】では「AI活用入門」が54.9%となり、【全体】と比べて10pt以上高くなった。
- ・【情報通信業】【卸売・小売業】では「データ分析実践講座」が【全体】と比べて5pt以上高くなった。



DX関連スキルを身につけた人材の採用意向

- ・【全体】をみると「即戦力として採用したい」は6.4%、「条件が合えば即戦力として採用したい」は55.1%となった。
- ・【宿泊・飲食業】では「条件が合えば即戦力として採用したい」が66.7%と【全体】と比べて10pt以上高くなった。

			(%)			
			即戦力として採用したい	条件が合えば 即戦力として採用したい	採用後に スキルアップのための訓練を する前提で検討したい	現時点では予定なし
n=						
業種別	全体	6,031	6.4	55.1	11.5	27.1
	製造業	1,013	5.8	55.9	12.2	26.1
	建設業	597	6.9	58.5	11.2	23.5
	情報通信業	215	6.0	59.5	16.7	17.7
	卸売・小売業	737	6.6	56.9	12.6	23.9
	医療・福祉	2,331	6.5	53.0	9.6	30.9
	宿泊・飲食業	45	8.9	66.7	6.7	17.8
	サービス業（上記以外）	583	5.7	56.8	13.4	24.2
	運輸・物流業	189	7.9	54.5	12.7	24.9
	その他	321	5.6	50.2	13.7	30.5
従業員規模	1～9人	755	6.8	54.0	11.5	27.7
	10～29人	1,326	6.9	58.1	10.6	24.4
	30～99人	2,118	5.9	55.3	12.0	26.8
	100～299人	1,198	5.9	54.7	11.0	28.4
	300人以上	634	7.3	50.2	12.1	30.4
採用予定の職種別	事務職	562	6.8	55.3	11.2	26.7
	営業・販売職	1,114	7.2	59.7	11.2	21.9
	医療・介護職	2,146	6.5	53.5	9.6	30.4
	IT関連職	227	7.5	59.0	13.2	20.3
	Webデザイン職	15	26.7	53.3	6.7	13.3
	その他	1,967	5.4	53.6	13.6	27.4

※n=30未満は参考値のため灰色。

公的職業訓練に関して、行政に特に強化してほしい取組

- 【全体】をみると「訓練修了生と求人企業のマッチング強化」が最も高く30.2%。次いで「採用にかかる助成」（27.9%）と続く。
- 【情報通信業】では「訓練内容の高度化」が21.4%となっており、他の業種と比べて高くなっている。

